



公益財団法人

みらいファンド沖縄

2018年度  
平成30年度

第9期

# 事業報告

2011年の、東日本大震災による寄付への関心・意識の高まりや、「市民公益税制」の整備、そして2012年の、内閣府の基金事業「新しい公共支援事業」をきっかけとする市民コミュニティ財団設立の動き、またクラウドファンディングの浸透など、寄付や社会貢献への意識や期待は高まっています。2014年には、市民コミュニティ財団の全国組織である一般社団法人全国市民コミュニティ財団協会が設立しました。

2018年度は、NPO等市民公益活動団体への支援プログラム「寄付と助成のプログラム」に加え、地域円卓会議の取り組みも年間8回実施しました。また、東近江市、千葉県、静岡県、佐賀県、においても沖縄式地域円卓会議の手法を用い地域課題の共有の取り組み、広がりを見せています。また、遺贈寄付の取り組みを広げることから、専門家とともに遺贈寄付勉強会を隔月で開催し、遺贈寄付が安心して行われるよう環境整備に取り組みました。

2016年12月9日には休眠預金活用法案も成立し、2019年1月には指定活用団体がJANPIAに決定しました。社会的投資の視点で国や企業、社会の資金の活用が図られる一方でその成果も厳しくみられ、社会インパクト評価として、評価軸の模索が始まっています。

社会環境が大きく変化した年でしたが、本年度も当財団は、地域の困りごとを解決するための基金として、企業や個人の寄付を解決に取り組むところへ届けました。

# 組織理念：みらいファンド沖縄のミッションとビジョン

## 社会の共感を育て、資金の循環を促す仕組みの構築

当法人は、沖縄における公益活動団体と、公益活動を支えたい企業、団体、個人等とを橋渡しするため、市民活動の社会的基盤の充実を図り、諸資源の循環をもたらすことで、地域のあらゆる主体が公益を担い、沖縄の未来を支え合う社会の実現に寄与することを目的とする。  
(定款第3条)

## 情報流通

市民活動の情報発信を促進し、市民の“共感”を育む

公益ポータルサイトの運営  
ソーシャル・ヒトワク  
広報誌等による情報発信  
県内外の寄付文化に関する情報収集と発信

## 資金循環

“共感”による寄付で、市民活動団体が自律的かつ継続的に活動できる環境づくりをめざす

市民活動を支援する基金の運営  
市民活動団体への寄付と助成のプログラム提供  
寄付文化を醸成するフォーラム等の開催  
他機関の助成プログラム等の支援  
企業CSR/CRMの促進

# 組織概要

名称  公益財団法人  
みらいファンド沖縄

英名 Mirai Fund Okinawa Inc.Foundation

設立年月日 2010年4月23日

公益認定日 2011年4月1日

事業年度 毎年4月1日～翌年3月31日

代表理事 小阪 亘

設立経緯 財団設立供出金300万円を  
93名の市民から寄付を頂いて設立

住所 〒903-0824  
沖縄県那覇市首里池端町34 2F内

加盟団体 一般社団法人全国コミュニティ財団協会  
一般社団法人全国レガシーギフト協会  
沖縄の子どもの未来県民会議

みらいファンド沖縄は、市民のみなさまからの寄付により、設立した「市民立」の財団です。

沖縄の公益活動団体を意志ある人々によって支え合う——みらいファンド沖縄の設立趣意に共感し、設立時拠出金をご寄付くださいましたみなさまに、感謝申し上げます。



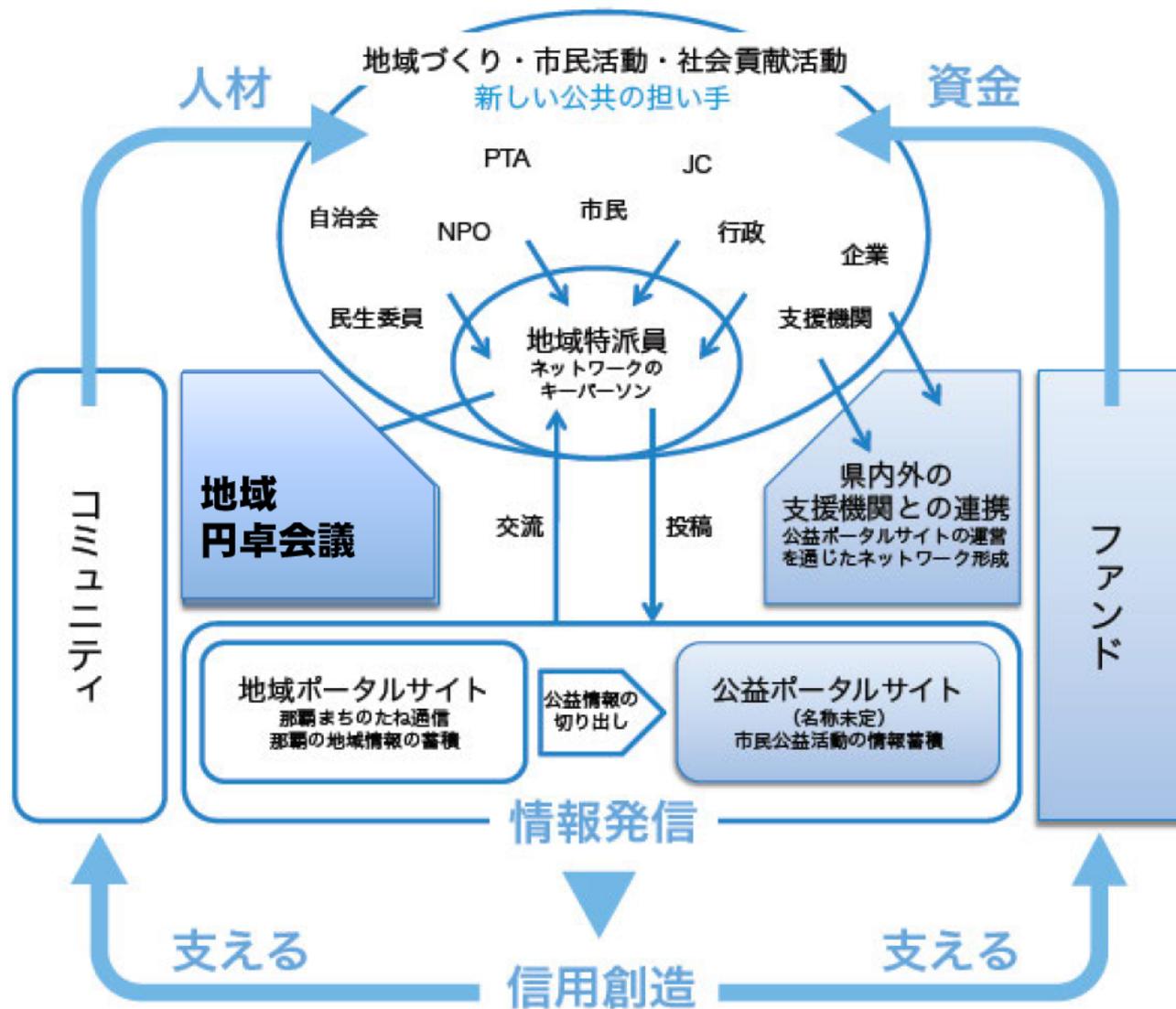
## 設立時拠出金に寄付くださったみなさま (五十音順・敬称略)

秋葉 武 新井 裕子 新垣 八重子 (有) 新垣ちんすこう菓子店  
有井 安仁 東濱 克紀 認定NPO 法人アンビシャス  
石原 達也 今津 新之助 岩田 直子 (株) エフエム那覇  
(株) エフエム21 遠藤 聡志 大城 逸子 大城 喜江子  
大城 幸代 大城 成信 大城 武久 大見謝 恒章  
NPO 沖縄シニアの会 川北 秀人 菊之露酒造 (株) 金城 嘉志  
金城 和光 (株) クレイ沖縄 古我知 浩 小阪 亘 小橋川 繁  
小松 かおり 呉屋 貴司 佐久間 愛弓 下地 美香  
(特活) 首里まちづくり研究会 佐脇 広平 新開 育恵  
新星出版 (株) 杉浦 幹男 関口 宏聡  
税理士法人添石総合会計事務所 添石 幸伸  
(特活) ソーシャル・デザイン・ファンド 平良 斗星 平良 恵津子  
地域情報エージェント (株) 知花 茂 知念 金徳  
(特活) ちゅらしまフォトミュージアム 當間 愛晃 戸田 幸典  
渡真利 雅男 仲村 一真 中村 聡 (特活) 日中文化交流センター  
比嘉 司 平井 雅 福岡 智子 前田 比呂也 真喜屋 光子  
(特活) まちなか研究所わくわく 松本 哲治 宮里 大八  
宮道 喜一 宮島 さおり 米野 史健 山城 岩夫 山城 司  
与儀 隆一 與古田 清順 (特活) ライフサポートてだこ  
(有) ルーツ 若尾 貴広 若尾 美希子 渡邊 真寿美  
匿名にて寄付くださった方々

(合計 93 名、300 万円)

# みらいファンド沖縄事業スキーム (2010 ⇒ 2018)

社会の共感を育て、資金の循環を促すしくみの構築に取り組む

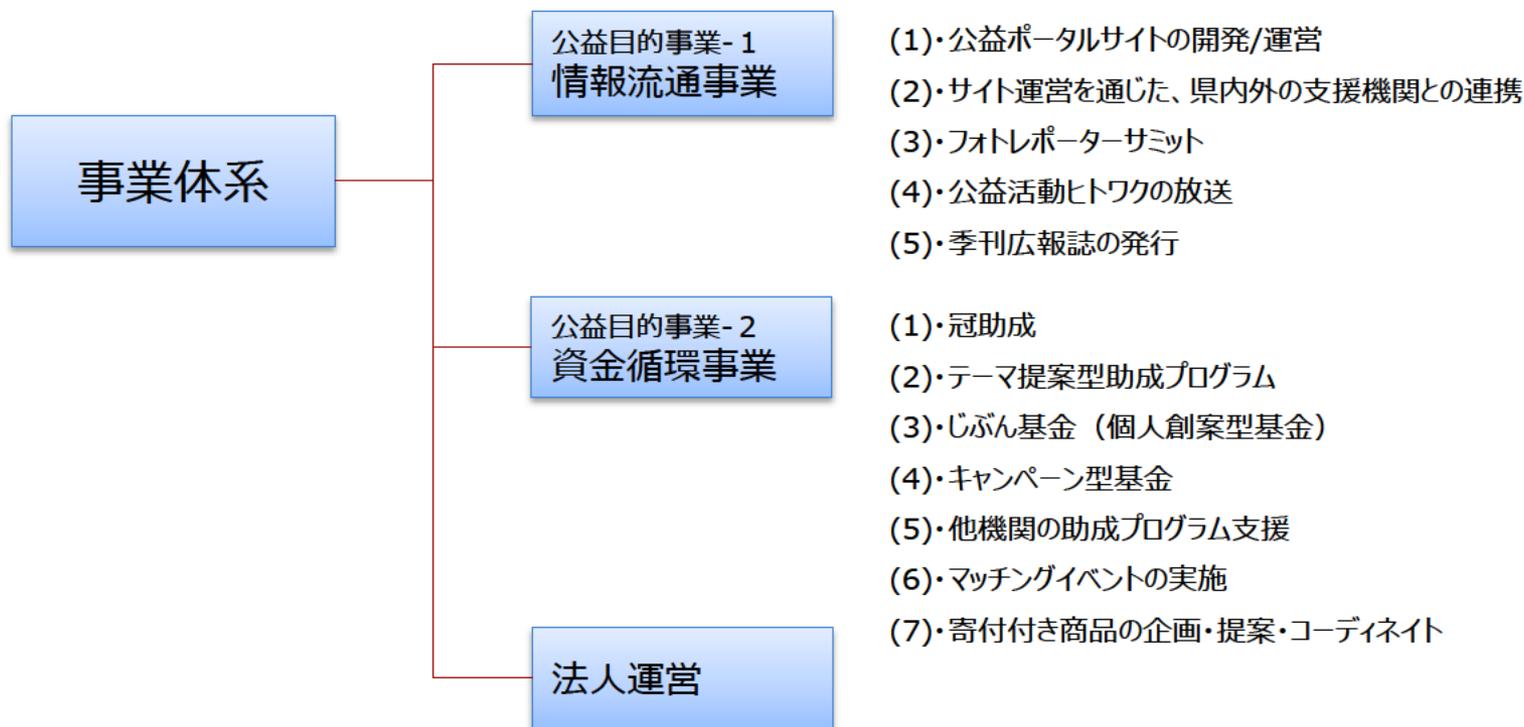


# 2018年度事業

当財団は、市民コミュニティ財団として公益法人格を有して、以下の公益目的事業を実施する。

コミュニティ財団とは、地域の人々によって設立され、地域のために活動する慈善事業組織です。この組織は、地域からの寄付によって成り立ち、市民によって構成される理事会によって運営され、地域社会のより良い暮らしのために活動しています。資金源は多種多様であり、地域社会の長期的な生活の質の向上のために活用されています。これらの資金は地域社会の代表の選択により各種組織・目的に向けて配分されます。

(全国コミュニティ財団協会資料より抜粋)



2017年度の受人寄付額 19,839,830円 (74件)  
前年度比 10,509,639円 (-4件)

## 基金

寄付総額 30,349,469円 (70件)

- 2018年度内の採択：第11期たくす 3事業  
カスタマイズ 1事業
- じぶん基金：新崎盛暉平和活動奨励基金、宮里大八国際交流基金
- 沖縄まちと子ども基金、  
寄付募集目標総額 10,336千円 前年度受付寄付総額 631千円

寄付月間2018 沖縄パネル展の開催

- 沖縄県庁1階ロビーにて開催 (12月3日～7日)  
参加：NPO8 民間6 沖縄県1 大学1



地域づくりのための助成事業活用シンポジウム  
2018.7.8

## 助成

「寄付と助成のプログラム」採択が通算29事業に

- たくす 第10期 3団体  
たくす 第11期 3団体、 カスタマイズ 2団体
- じぶん基金：新崎盛暉平和活動奨励基金 助成実施 2名

## 課題 解決

地域円卓会議が好評！ 8回開催・支援

- 開催場所 (那覇市、西原町、南城市など)
  - テーマ (子どもの貧困、認知症見守り、島へのUターン等)
  - 沖縄子どもの未来県民会議より3本の円卓会議を受託
- コレクティブインパクト事業の実施

全国コミュニティ財団協会委託事業で

- 認知症みまもり自販機 ・ 子どもの貧困

遺贈寄付勉強会・助成財団シンポジウムを開催



沖縄子どもの未来県民会議 地域円卓会議  
in沖縄県立図書館 2019.2.12



## 沖縄県庁職員による フードドライブ



### 贈呈式の様子

期間：12月3日（月）～14日（金）  
場所：沖縄県プラザ（受取窓口）  
内容：食料208キロ  
贈呈先  
NPO法人フードバンクセカンド  
ハーベスト沖縄

## 寄付月間パネル展 沖縄県庁1階ロビー



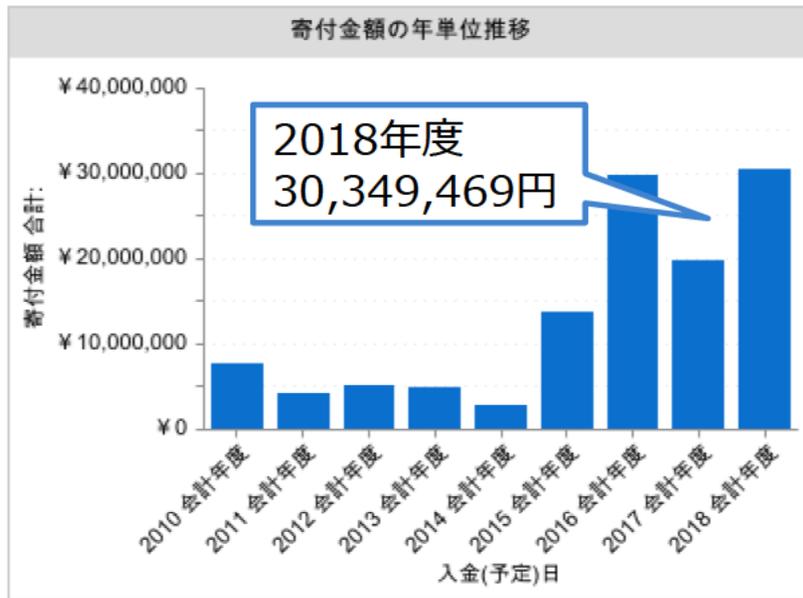
### 県庁1階ロビーパネル展

期間：12月3日（月）～7日（金）  
場所：沖縄県1階ロビー

### 参加団体

NPO 8団体  
企業 6団体  
行政 1団体  
大学 1団体

# 2018年度寄付金額と件数の推移



寄付総額

**118,188,874円**



延べ寄付者数

**867件**

2018年度は下記方針で取り組んだ

2018年度 方針

- ◆ 地域円卓会議の取り組みを通じて、課題解決へ向けての取り組みを行う
- ◆ 寄付者が解決したい課題に対して、じぶんの基金が作れるじぶん基金の仕組みを広げる
- ◆ 遺贈寄付の受入体制をつくる（2015年度1件1,000万円実績有）
- ◆ 市民コミュニティ財団ガイドラインに基づく組織運営

## 2018年度の概況

沖縄の寄付文化醸成のために、2014年6月に一般社団法人全国コミュニティ財団協会を設立し、2018年度で、正会員17団体、準会員8団体と年々増加傾向にあります。当財団は九州ブロック理事として参画し、全国におけるコミュニティ財団の信頼性の向上と政策提言、環境整備に努めています。

一般社団法人レガシーギフト協会にも加盟し、遺贈寄付の環境整備に取り組んでいる。今年度は、遺贈寄付研修を沖縄で初めて開催しました。

12月には、全国で寄付を推進する月間として、「寄付月間Giving December 欲しい未来へ、寄付を送ろう」が行われた。当財団も寄付月間推進委員として沖縄での推進に取り組み、沖縄県とともに県庁ロビーで寄付月間パネル展を開催した。寄付月間2017 賛同パートナー特別賞 沖縄県が受賞しました。

「公1 情報流通事業」は依然として資金の調達が難しい構造になっており、新しい事業資金の調達方法を考えていく必要があると考える。

# 公1 情報流通事業 実施した事業

区分	事業名	実施時期	事業の概要
公1 -(1)	公益ポータル運営	通年	<p>NPOデータベース登録数：現在335団体            年間閲覧数：ページビュー21,286（昨年度23,304）-8.66%減            今年度は更新ページを少し工夫して読み物ページなど検索にあたりやすい施策を行っていく。また、どのページで離脱しているのかを計測・判断し、「ページ離脱」の改善も行っていく。</p>
公1 -(2)	他機関連携・情報収集	—	<p>全国の動向を知り、沖縄での寄付文化醸成に寄与するため、各機関の研修やフォーラムへ参加した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おきなわ市民活動支援会議へ参加（月1回）</li> <li>・全国コミュニティ財団協会（以下全コミ財）へ参加 理事会、研修会への参加</li> <li>・全国レガシーギフト協会</li> <li>・寄付月間Giving December 欲しい未来へ、寄付を送ろう</li> <li>・寄付月間推進委員</li> <li>・委員：沖縄子どもの未来応援県民会議 事業推進部会 委員（小阪）</li> </ul>

# 公1 情報流通事業 実施した事業

区分	事業名	実施時期	事業の概要
公1 -(4)	ソーシャル・ヒトワクの放送	通年 再放送あり	NPOの活動紹介と、NPOの活動を紹介するトーク番組をタイフーンfm (78.0MHz) で放送した。  NPOヒトワク- 放送回数12回 (2010年度からの通算189回)
公1 -(5)	広報誌の発行	12月	みらいファンド沖縄活動報告書 (2010-2018) を発行した  
公1 -(5)	メールニュースの発行	通年	イベントや助成金の情報、mfoの支援NPOの紹介等を行うメールニュース及びFBで情報発信を行った。イベント直前等に臨時号を発行している。

### 2018年度の概況

「寄付と助成のプログラム」では第10期が寄付募集活動支援期間が終了し、第11期は、3事業が採択され寄付募集を行っている。また、寄付と助成のプログラムたくすの高額寄付募集として、カスタマイズ（募集期間・手数料が異なる）を行い、今年度も寄付募集を継続し多額の寄付を寄せていただいています。

じぶん基金の一つである新崎盛暉平和活動奨励基金では、助成の実施から事業報告会まで実施した。助成個人名称を冠したDAF（ドナー・アドバイズド・ファンド）の創設に引き続き力を入れていきます。

今年度は公2 - (5) 他機関の助成プログラム支援に取り組むことが出来ました。助成財団センターとともに、沖縄地域の助成プログラム担当者向けセミナーを開催し、各助成プログラムの向上に貢献することができました。

マッチングイベントでは、2010年度より開催を重ねてきた「地域円卓会議」は引き続き好評で、2018年度は8回開催した。また、全国コミュニティ財団協会より、コレクティブインパクト事業を受託。認知症見守り自販機と子どもの貧困に取り組んだ。

## 公2 資金循環事業 実施した事業

区分	事業名	実施時期等	事業の概要
公2 -1)	世界若者ウチナンチュ大会支援基金	2012年6月設置	基金の今後の展開については、今後も継続することが確認された。
公2 -1)	沖縄まちと子ども基金	2012年12月設置	募集するも申請がなく次期繰り越し

## 公2 資金循環事業 実施した事業

区分	事業名	実施時期等	事業の概要
公2 -(2)	寄付と助成のプログラム 第10期たくす	寄付募集支援期間 2017年9月～ 2018年8月	第10期たくす 2017年9月～2018年8月 採択団体：3団体 ・NPO乳がん患者の会 ピんく・ぱんさー ・琉球フィルハーモニー管弦楽団 ・NPO法人一万人井戸端会議  寄付受入総額 1,490,000円 助成総額 1,323,073円
公2 -(2)	寄付と助成のプログラム 第11期たくす	寄付募集支援期間 2018年9月～ 2019年8月	募集期間：2018年7月10日～8月10日 対象事業募集 説明会 日時：2018年8月2日（木）19:00～20:00 場所：天久ヒルトップ 相談室  選考会： 日時：2018年8月28日（火）10:30～12:00 場所：みらいファンド沖縄事務所  採択団体：3団体 ・NPO乳がん患者の会 ピんく・ぱんさー ・琉球フィルハーモニー管弦楽団 ・NPO法人ちゅらゆい  寄付募集目標総額 9,660,000円

## 公2 資金循環事業 実施した事業

区分	事業名	実施時期等	事業の概要
公2 -2)	寄付と助成のプログラム たくす カスタマイズ 	寄付募集支援期間 第1期 2015年12月～ 2016年11月  第2期 2016年12月～ 2017年11月  第3期 2017年～ 2018年12月	寄付と助成のプログラムたくすのカスタマイズ 高額寄付募集のため、・期間（寄付募集、助成） ・手数料 以外は、通常版とは異なるが、それ以外は寄付と助成のプログラム たくすと同じ仕様  採択団体：特定非営利活動法人 アルコール・薬物依存症リハビリセンター琉球GAIA  寄付募集目標総額：60,000,000円 件数：27件 寄付総額：70,820,000円（2019年3月31日現在） 助成総額 66,566,100円（2019年3月31日現在）  助成事業実施報告完了
公2 -2)	寄付と助成のプログラム たくす カスタマイズ	寄付募集支援期間 2019年1月～	申請団体：一般社団法人長生楽  選考会： 日時：2017年12月19日（木）18:30～19:30 場所：みらいファンド沖縄事務所  採択結果：条件付き採択  寄付募集目標総額：3,000,000円 件数：2件 寄付総額：1,160,000円（2019年3月31日現在）

## 公2 資金循環事業 実施した事業

区分	事業名	実施時期等	事業の概要
公2 -(3)	じぶん基金（個人創案型基金） J003 宮里大八国際交流基金	寄付募集支援期間 2015年9月～	Okinawan Dreams Project2018 沖縄における児童養護施設やひとり親の家庭の子どもたちを対象に、英語によるコミュニケーションを学び、海外留学体験をサポートするプログラム。 募集期間：2018年6月12日（火）～7月6日（金） 助成決定数：4人 / 応募総数15人 寄付受入総額は、3,048,029円（2019年3月31日現在）
公2 -(3)	じぶん基金（個人創案型基金） J004 新崎盛暉平和活動奨励基金	2017年1月設置  寄付募集支援期間 2017年3月～	沖縄の歴史を踏まえ、沖縄の平和と人権を守り、沖縄を世界の平和の拠点とする市民の創造的実践活動、研究活動を助成することを目的として、この基金を設置します。  寄付募集目標金額：3,000,000円 （第2期）募集期間：2018年3月6日（水）～6月15日（金）  選考会： 日時：2018年6月18日（月）18:30～20:30 場所：みらいファンド沖縄事務所  助成金額：30万円 渡嘉敷健さん（基地建設の沖縄自然環境への影響を伝えている） 助成金額：40万円 金 閻愛さん（The Informed-Public Project（IPP）代表）  助成報告会 日時：2019年5月下旬予定 場所：八汐荘



選考会の様子  
2018.6.18

\* 公2-(4)キャンペーン型基金については当年度は実施していない

## 公2 資金循環事業 実施した事業

区分	事業名	実施時期	概要と事務局所感
公2 -(1~3)	以上の基金・プログラムのファン ドレイジング等の支援に関する業 務	1月	遺贈寄付勉強会の実施 参加団体 みらいファンド沖縄、シナジープラス、TAパートナーズ など
公2 -(5)	地域づくりのための 助成事業活用シンポジウム	7月8日	<p>地域づくりのための助成事業活用シンポジウム</p> <p>日 時：2018年7月8日（日）13:00～17:00 場 所：沖縄県総合福祉センター ゆいホール 参加者：132名</p> <p>第1部 基調講演 「助成金を出す立場から、助成金の活用する皆さんに伝えたい5 つのこと」 鈴木祐司さん（公益財団法人地域創造基金さなぶり 専務理事/事 務局長）</p> <p>第2部 助成金を活用して成果をあげた団体からの事例報告 第3部 情報提供 助成財団等との名刺交換交流会</p> <p>■主 催 地域づくりのための助成事業活用シンポジウ ム実行委員会 ■構成団体 沖縄県地域づくりネットワーク、おきなわア ジェンダ21県民会議、沖縄県企画部、（公社）沖縄県地 域振興協会、社会福祉法人沖縄県共同募金会、社会福祉法 人沖縄県社会福祉協議会、（公財）沖縄県文化振興会、沖 縄銀行、琉球銀行、沖縄ろうきん、コープ沖縄、沖縄子ど もの未来県民会議、琉球新報、（公財）みらいファンド沖縄</p>



## 公2 資金循環事業 実施した事業

区分	事業名	実施時期等	事業の概要
公2 -(6)	地域円卓会議の開催・支援	通年	地域の社会的課題の解決のための対話の場である「地域円卓会議」の開催・支援を行った。 地域円卓会議：8回 参加人数：368名

	日付	内容	主催	参加人数
1	6/3 (日)	久高島へのUターンを考える地域円卓会議	南城市、久高区	18名
2	10/2 (火)	沖縄子どもの未来県民会議地域円卓会議 (子どもの居場所)	沖縄県、 沖縄子どもの未来県民会議	60名
3	12/17 (月)	子どもの居場所の資金を考える地域円卓会議	みらいファンド沖縄	40名
4	12/18 (火)	単身シニア女性の貧困を考える地域円卓会議	みらいファンド沖縄	24名
5	1/14 (月)	沖縄子どもの未来県民会議地域円卓会議 (企業)	沖縄県、 沖縄子どもの未来県民会議	47名
6	1/26 (土)	認知症でも安心して暮らせるまちの実現に向けて民間の力を活用したまちづくりを考える	沖縄県	49名
7	2/12 (火)	沖縄子どもの未来県民会議地域円卓会議 (教育と福祉)	沖縄県、 沖縄子どもの未来県民会議	85名
8	3/9 (土)	公共交通を福祉とまちづくりの視点から考える地域円卓会議	那覇市議会無所属の会	45名

## 公2 資金循環事業 実施した事業

区分	事業名	実施時期	概要と事務局所感
公2 -(6)	コレクティブインパクト事業 	通年	沖縄における重要課題において、コレクティブインパクトで社会課題解決を行う事業に取り組む ①沖縄県認知症高齢者見守り推進事業 日時：2019年1月26日（土） 場所：宜野湾市民図書館 内容：第1部 搜索地域円卓会議 第2部 地域円卓会議  ②子どもの貧困問題の解決
公2 -(6)	寄付月間2018	12月	寄付月間パネル展の実施 期間：2018年12月3日（月）～12月7日（金） 場所：沖縄県県庁1階ロビー 参加：NPO8 民間6 沖縄県1 大学1
公2 -(6)	各種勉強会の開催	随時	地域円卓会議体験セミナー

\* 公2-(7)寄付付き商品の企画・提案・コーディネートについては当年度は実施していない

## その他（法人運営等）

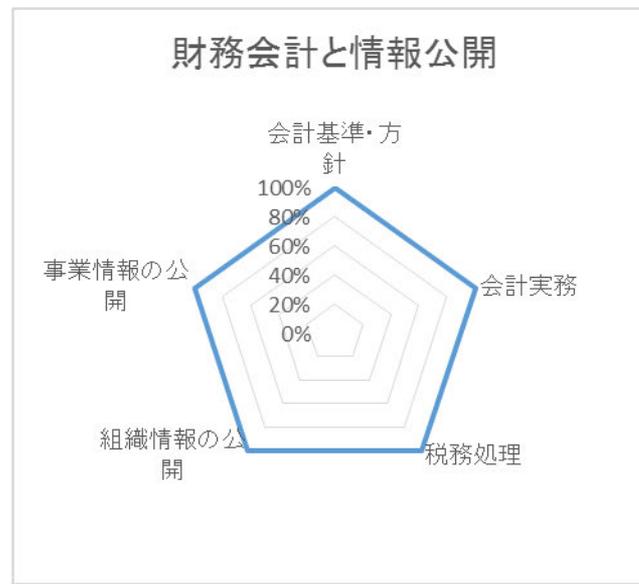
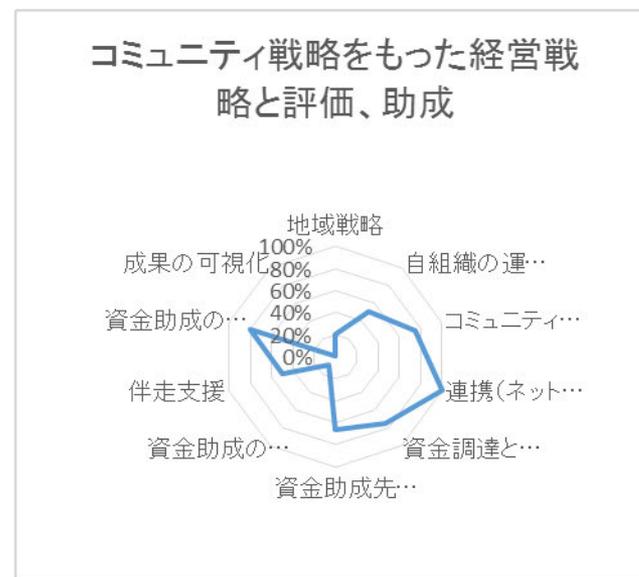
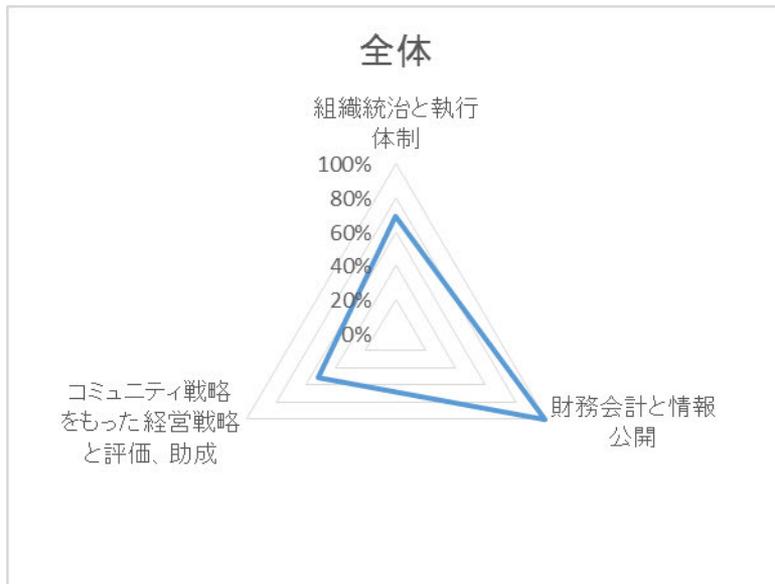
### 2018年度の概況

法人運営体制について、現在の収入規模に応じた効率的な運営に努め、昨年度に引き続き単年度黒字を達成することができた。一方で年間寄付金額は30,349,469円となり、昨年度に引き続き多額のご寄付をいただくことが出来た。

また、コミュニティ財団ガイドライン（発行：全国コミュニティ財団協会 2016）に基づき運営を行うためセルフチェックを実施した。

区分	事業名	実施時期	概要と事務局所感
法人	定時評議員会の開催	6月	期間：2018年6月22日（金）10:30～12:00 場所：みらいファンド沖縄 事務所
法人	理事会の開催	通年	第1回 2018年5月11日（金）13:30～15:30 第2回 2018年6月11日（月）電磁的方法により実施 第3回 2018年6月22日（金）電磁的方法により実施 第4回 2018年9月14日（金）10:00～12:00 第5回 2019年1月11日（金）13:30～15:30 第6回 2019年3月26日（火）10:00～12:00  場所：みらいファンド沖縄 事務所
法人	事務局体制	随時	定例会 毎週木曜日10時 常務理事にて実施 職員：██████████（週3回勤務） 会計業務：大城税理士事務所に委託

# コミュニティ財団ガイドラインによるセルフチェック結果



# 役員一覧

評議員（任期（4年）：2018年6月3日～2022年評議員会まで）

役職	氏名	所属
評議員	イナギ ジュンイチ 稲垣 純一	沖縄電子ビジネス専門学校 理事
評議員	マキヤ ミツコ 真喜屋 光子	有限会社センチュリー経営企画（マキの靴）代表取締役
評議員	ハハ マサヒロ 饒波 正博	沖縄赤十字病院勤務 なは市民協議会
評議員	イトカズ ミキ 糸数 未希	NPO法人にじのはしファンド代表
評議員	モトムラ マコト 本村 真	琉球大学キャリア教育センター センター長・人文社会学部教授
評議員	ツツキ ヨウコ 續 洋子	NPO法人1万人井戸端会議 副代表/事務局長

理事（任期（2年）：2018年6月22日～2020年評議員会まで）

役職	氏名	所属
理事 代表理事	コサカ フタル 小阪 亘	特定非営利活動法人まちなか研究所わくわく 代表理事
理事 副代表理事	タイラ トウセイ 平良 斗星	株式会社エフエム那覇 会長
理事	ミヤザト ダイヤ 宮里 大八	琉球大学 地域連携推進機構 特命准教授
理事	テルキナ トオル 照喜名 通	沖縄県難病相談支援センター 認定NPO法人 アンビシャス 副理事長
理事	チネン タツヒコ 知念 忠彦	医療法人天仁会 天久ヒルトップ 施設長

監事（任期（4年）：2018年6月22日～2022年評議員会まで）

役職	氏名	所属
監事	ナンロ ヨシエ 名城 佳枝	大学非常勤講師、ファイナンシャルプランナー、沖縄県金融広報アドバイザー
監事	ヤマザキ アラタ 山崎 新	株式会社おきなわedu 取締役

# 受入れ寄付額と助成の実績 (2010-2017)

		受入寄付 年度達成額	受入寄付 累積達成額	助成金交付 年度実施額	備考
2010 (第1期)	立上期 財団機能 基盤構築	9,197,780円	9,197,780円	5,755,250円	・受入寄付額には拠出金を含む ・震災関連寄付を含む
2011 (第2期)		3,824,684円	13,022,838円	2,427,218円	・受入寄付額にはみらい ファンド沖縄への寄付を含む ・震災関連寄付を含む
2012 (第3期)		5,170,037円	18,194,341円	3,709,315円	・受入寄付額にはみらい ファンド沖縄への寄付を含む
2013 (第4期)	助成プログラ ム・円卓会議 の確立	4,920,777円	23,115,118円	2,383,834円	・受入寄付額にはみらい ファンド沖縄への寄付を含む
2014 (第5期)		2,760,362円	25,875,480円	2,549,919円	・受入寄付額にはみらい ファンド沖縄への寄付を含む
2015 (第6期)	FR機能の 強化・確立	12,718,093円	38,593,573円	1,745,517円	・受入寄付額にはみらい ファンド沖縄への寄付を含む
2016 (第7期)		29,679,412円	68,272,985円	1,325,250円	・受入寄付額にはみらい ファンド沖縄への寄付を含む
2017 (第8期)		19,839,830円	87,839,405円	3,287,547円	・受入寄付額にはみらい ファンド沖縄への寄付を含む
2018 (第9期)		30,349,469円	118,188,874円	70,000,454円	・受入寄付額にはみらい ファンド沖縄への寄 付を含む

# 略年表 (2009-2013)

年度	みらいファンド沖縄の主なできごと	社会の主なできごと
2009 H21	<ul style="list-style-type: none"> <li>•キックオフフォーラム</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>•衆議院選挙で民主党圧勝</li> <li>•裁判員制度施行</li> </ul>
2010 H22	<ul style="list-style-type: none"> <li>•法人設立</li> <li>•那覇市「地域づくり・公益活動支援事業」受託（緊急雇用事業）</li> <li>•「じぶん基金」プログラム2基金スタート</li> <li>•沖縄NPOデータベース公開</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>•普天間基地の辺野古移転が白紙に</li> <li>•沖縄県民税の寄附金控除対象法人が拡大</li> <li>•「新しい公共」円卓会議</li> <li>•11月 仲井眞知事 再選</li> <li>•12月 ISO26000発効</li> <li>•3/11 東日本大震災</li> </ul>
2011 H23	<ul style="list-style-type: none"> <li>•公益財団法人化</li> <li>•「寄付と助成のプログラム」スタート</li> <li>•H23「沖縄県新しい公共支援事業」受託</li> <li>•クレジットカードにて寄付決済サービス開始</li> <li>•PSTをクリアし、税額控除認定を受ける</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>•6月 新しい市民公益税制が成立</li> <li>•6月 改正NPO法が成立</li> <li>•7月 なでしこジャパン FIFA杯優勝</li> <li>•10月 世界のウチナーンチュ大会</li> </ul>
2012 H24	<ul style="list-style-type: none"> <li>•H24沖縄県「新しい公共支援事業」受託</li> <li>•「世界若者ウチナーンチュ大会支援基金」設置</li> <li>•カンパイチャリティを開催</li> <li>•「沖縄まちと子ども基金」設置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>•4月 新認定NPO法人制度スタート</li> <li>•5月 沖縄の本土復帰40周年</li> <li>•8月 ロンドンオリンピック</li> <li>•11月 那覇市長に翁長氏が4選</li> <li>•12月 衆議院選挙で自民党圧勝</li> <li>•2月 浦添市にNPO出身の市長が誕生</li> </ul>
2013 H25	<ul style="list-style-type: none"> <li>•4月 事務局をタイフーンfm内に移転</li> <li>•6月 国交省 事業受託</li> <li>•7月 累積寄付受入額 2000万円を突破</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>•4月 インターネット選挙解禁</li> <li>•6月 富士山が世界遺産に</li> <li>•11月 旧民法法人の移行特措期間終了</li> </ul>

# 略年表 (2014-2016)

年度	みらいファンド沖縄の主なできごと	社会の主なできごと
2014 H26	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6月「寄付と助成のプログラム」を再編し公募開始</li> <li>・6月一般社団法人全国コミュニティ財団協会設立、設立時九州ブロック理事として参画</li> <li>・3月全国コミュニティ財団協会海外招聘事業フォーラム・研修「米国のコミュニティ財団100年の歴史に学ぶ」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月 消費税増税（8%に）</li> <li>・5月 日本創生会議が自治体の896が消滅の危機にあると発表。地方消滅（通称増田レポートの発表）</li> <li>・9月 第2次阿部内閣にて、地方創生担当大臣に石破茂とまち・ひと・しごと創生本部を設置。</li> <li>・9月 FIFAワールドカップ ブラジル大会</li> <li>・12月 沖縄県知事に翁長雄志氏が当選</li> <li>・2月 介護保険制度の改正（要支援1，2が予防給付の対象除外に）</li> </ul>
2015 H27	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10月 じぶん基金 宮里大八国際交流基金を設置</li> <li>・12月 寄付月間、全国規模の寄付推進の取り組み、寄付月間推進委員として、沖縄で寄付推進に取り組む</li> <li>・1月 遺贈寄付 第1号を受け入れる</li> <li>・2月8日 みらいファンド沖縄5周年記念イベント ドネーションパーティ&amp;サンクスデー</li> <li>・琉球大学、名城大学とCOC+円卓会議開催（県内5カ所）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普天間基地の辺野古移転が白紙に</li> <li>・沖縄県民税の寄附金控除対象法人が拡大</li> <li>・「戦後70年談話」</li> <li>・9月10日 関東・東北豪雨 鬼怒川氾濫</li> <li>・9月19日 参院本会議で“安保法”可決</li> <li>・11月13日 「パリ同時多発テロ」発生</li> <li>・12月 寄付月間が、寄付を推進する全国的な取り組み が初めておこなれた。</li> <li>・2月 国勢調査で初めて人口減少 1920年の調査開始以来初めて。</li> </ul>
2016 H28	<ul style="list-style-type: none"> <li>・7月 沖縄県が、県内の深刻な子どもの貧困の解決に向けて 沖縄子ども未来県民会議を設置 事業部会の委員として参画</li> <li>・11月 マニフェスト大賞 優秀賞 受賞</li> <li>・11月 全国レガシーギフト協会 設立総会（みらいファンド沖縄加盟）</li> <li>・税額控除認定 更新</li> <li>・1月 新崎盛暉平和活動奨励基金 を設置</li> <li>・累積寄付受入額 5000万円を突破</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1月 日銀がマイナス金利政策を導入したことにより、 長期金利が過去最低を更新</li> <li>・4月14日、16日 熊本地震、初めて震度7が2回観測</li> <li>・5月 伊勢志摩サミット オバマ米大統領が広島訪問</li> <li>・12月2日 休眠預金活用法成立</li> <li>・1月 ドナルド・トランプの第45代アメリカ合衆国大統領就任</li> </ul>

# 略年表 (2017-2019)

年度	みらいファンド沖縄の主なできごと	社会の主なできごと
2017 H29	<ul style="list-style-type: none"> <li>・11月 助成財団シンポジウム（助成財団センター）と実施</li> <li>・1月 沖縄県で初めて遺贈寄付研修をNPO向け、土業向けに実施</li> <li>・3月 沖縄県が寄付月間2017で賛同パートナー特別賞を受賞</li> <li>・3月 1年間で16回の円卓会議を開催（過去で最高件数）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1月 トランプ大統領就任、米国第一主義を掲げる</li> <li>・3月 特定非営利活動促進法 成立20周年</li> <li>・7月 都議選で都民ファーストの会が躍進</li> <li>・9月 桐生 9秒98 日本人初の10秒台突破</li> <li>・10月 第48回衆議院選挙 自民党が3分の2議席</li> </ul>
2018 H30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6月 評議員、理事、幹事改選</li> <li>・5月 寄付受入金額1億円突破</li> <li>・12月 みらいファンド沖縄活動報告書2010-2018発行</li> <li>・3月 沖縄式地域円卓マニュアル作成費のためのクラウドファンディング実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1月 仮想通貨流出、交換業者に改善命令</li> <li>・5月 将棋・藤井聡太、最年少で七段に</li> <li>・8月 翁長沖縄県知事死去</li> <li>・9月 玉城沖縄県知事就任</li> <li>・11月 2025年大阪万博開催決定</li> </ul>
2019 H31		

2011年の、東日本大震災による寄付への関心・意識の高まりや、「市民公益税制」の整備、そして2012年の、内閣府の基金事業「新しい公共支援事業」をきっかけとする市民コミュニティ財団設立の動き、またクラウドファンディングの浸透など、寄付や社会貢献への意識や期待は高まっていた。2014年には、市民コミュニティ財団の全国組織である一般社団法人全国市民コミュニティ財団協会が設立。2016年には遺贈寄付を推進する全国レガシーギフト協会の設立（当財団加盟）や休眠預金活用に係る法律（2016年12月9日）の成立など、地域社会を構築していくための社会的投資の動きが活発になっています。一方で、市民の志を基にする社会資源を活用するには高い倫理規範と成果を求められている。

2019年度は第9期となり、地域円卓会議の取り組みも年間11回実施した。公2の資金循環事業では、じぶん基金では「琉球宇温基金」や「うむさん基金」、首里城火災の復興に取り組む「首里城アーカイブ基金」など新しい基金が多く誕生した。また、2019年度4月からは休眠預金を各地で助成を行う資金分配団体の募集が始まり、当財団が資金分配団体に選定されました。「沖縄・離島子どもの派遣基金事業」の事業実施がスタートし、円卓会議、説明会を実施し、実行団体の3団体が内定した。また、年度末には新型コロナウイルスの拡大防止のため、円卓会議の開催が2本延期になった。社会環境が大きく変化した年でしたが、本年度も当財団は、地域の困りごとを解決するための基金として、企業や個人の寄付を解決に取り組むところへ届けました。

2019年度 方針  
に基づき事業実施

- ◆ 地域円卓会議の取り組みを通じて、課題解決へ向けての取り組みを行う
- ◆ 沖縄における重点課題として、子どもの貧困、認知症の見守りとして取り組む
- ◆ 休眠預金の資金分配団体の検討
- ◆ 遺贈寄付の受入体制をつくる

### 社会の共感を育て、資金の循環を促す仕組みの構築

当法人は、沖縄における公益活動団体と、公益活動を支えたい企業、団体、個人等とを橋渡しするため、市民活動の社会的基盤の充実を図り、諸資源の循環をもたらすことで、地域のあらゆる主体が公益を担い、沖縄の未来を支え合う社会の実現に寄与することを目的とする。  
(定款第3条)

### 情報流通

市民活動の情報発信を促進し、市民の“共感”を育む

公益ポータルサイトの運営  
ソーシャル・ヒトワク  
広報誌等による情報発信  
県内外の寄付文化に関する情報収集と発信

### 資金循環

“共感”による寄付で、市民活動団体が自律的かつ継続的に活動できる環境づくりをめざす

市民活動を支援する基金の運営  
市民活動団体への寄付と助成のプログラム提供  
寄付文化を醸成するフォーラム等の開催  
他機関の助成プログラム等の支援  
企業CSR/CRMの促進

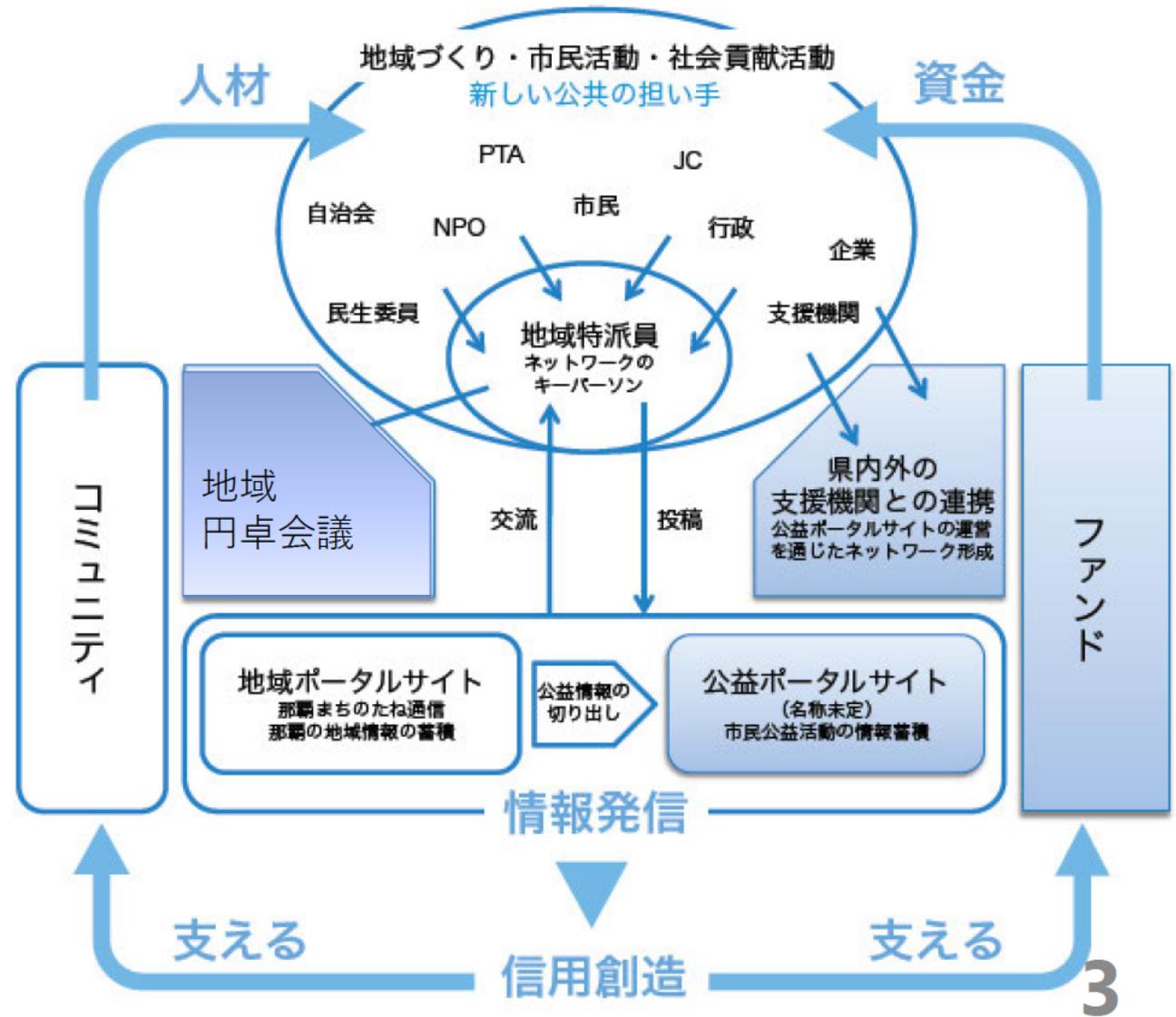
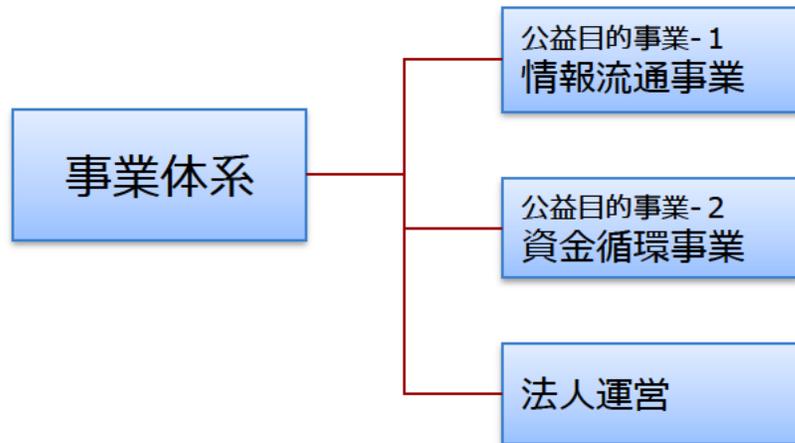
# 事業スキーム

社会の共感を育て、資金の循環を促すしくみの構築に取り組む

当財団は、市民コミュニティ財団として公益法人格を有して、以下の公益目的事業を実施する。

コミュニティ財団とは、地域の人々によって設立され、地域のために活動する慈善事業組織です。この組織は、地域からの寄付によって成り立ち、市民によって構成される理事会によって運営され、地域社会のより良い暮らしのために活動しています。資金源は多種多様であり、地域社会の長期的な生活の質の向上のために活用されています。これらの資金は地域社会の代表の選択により各種組織・目的に向けて配分されます。

(全国コミュニティ財団協会資料より抜粋)



2018年度の受入寄付額 30,339,469円 (69件)  
前年度比 -23,740,614円 (+191件)

## 基金

寄付総額 6,598,855円 (260件) 新基金設置5基金

- 2019年度内の採択：第12期たくす 2事業  
カスタマイズ 3事業 (わらび屋子どもの居場所一基金、首里城アーカイブ基金、うむさんラボ基金など)
- じぶん基金：3基金 新崎盛暉平和活動奨励基金、宮里大八国際交流基金、琉球宇温基金
- うむさん基金 (2事業)、沖縄まちと子ども基金

寄付月間2019 沖縄パネル展の開催

- 沖縄県立図書館3階展示コーナーにて開催 (R1年12月4日～R2年1月6日)  
参加：NPO4 民間3 沖縄県1 大学1

## 助成

「寄付と助成のプログラム」採択が通算35事業に

- たくす 第11期 3団体  
たくす 第12期 2団体、カスタマイズ 4団体
- じぶん基金：新崎盛暉平和活動奨励基金 助成実施 1名  
琉球宇温基金 助成実施 2団体

## 課題 解決

地域円卓会議が好評！ 11回開催・支援

- 開催場所 (那覇市、浦添市、沖縄市、宮古島市など)
- テーマ (子どもの貧困、FIBAワールドカップ、まちぐわーと食を考える等)
- 沖縄子どもの未来県民会議より3本の円卓会議を受託

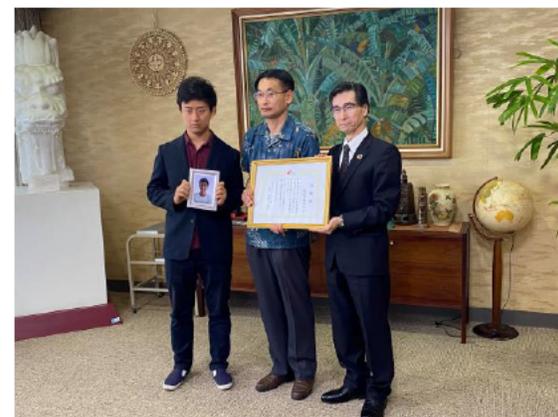
休眠預金等活用法に基づく資金分配団体に決定

- 一般財団法人日本民間公益活動連携機構 (JANPIA)助成事業  
事業名：沖縄・離島子どもの派遣基金事業

実行団体公募説明会、同内定団体オリエンテーションを開催



子どもの貧困と児童労働のつながりを考える地域円卓会議  
2019.10.11



琉球宇温基金 贈呈式の様子 琉球大学学長  
と 2020.2.25

# トピック1 寄付月間2019 沖縄



寄付月間パネル展  
沖縄県立図書館3階展示コーナー



期間：R1年12月4日（水）～R2年1月6日（月）  
場所：沖縄県立図書館3階展示コーナー

共催：沖縄県、琉球大学、みらいファンド沖縄  
内容：

- ・寄付月間2019について
  - ・首里城火災復旧・復興支援寄附金に関するパネル
- 展示
- ・参加団体パネル（活動の紹介）  
公益財団法人みらいファンド沖縄  
琉球大学基金室
  - ・沖縄子どもの未来県民会議
  - ・NPOの活動パネル



# トピック2 沖縄・離島子どもの派遣基金事業 (休眠預金交付金)

## 部活遠征費に 休眠預金活用

沖縄・離島の子ども派遣基金事業の仕組み

地域(寄付者) これまでの資金造成の寄付で  
公益税制 ↓  
JANPIA (指定活用団体) 休眠預金  
事業費 ↓  
実行団体 社会教育団体・公益団体・企業 など  
公益税制 ↓  
沖縄・離島の子ども派遣基金 (資金分配団体)  
基金造成 (自主財源とみなす)  
基金造成 ↓  
活動の派遣費用支払い

「体験格差解決へ」

「体験格差解決へ」

「体験格差解決へ」



▲子どもたちの部活動における派遣費用負担を考える地域円卓会議の開催

日時：2019年12月21日(土) 14:00-16:40  
場所：琉球大学 研究者交流施設・50周年記念館  
着席者数：8名 来場者数：38名

◀ 新聞記事掲載  
沖縄タイムス 2020年1月27日 1面掲載

## 沖縄・離島の子ども派遣基金事業

### 公募説明会

1/16(水) 19:00-20:30 場所:那覇市庁  
1/22(水) 19:00-20:30 場所:石垣市庁  
1/26(日) 午後予定 場所:宮古島市庁

申し込みフォーム: <https://forms.gle/wRQwWvDvHLLi1w7V6>

▲県内3力所で説明会の実施

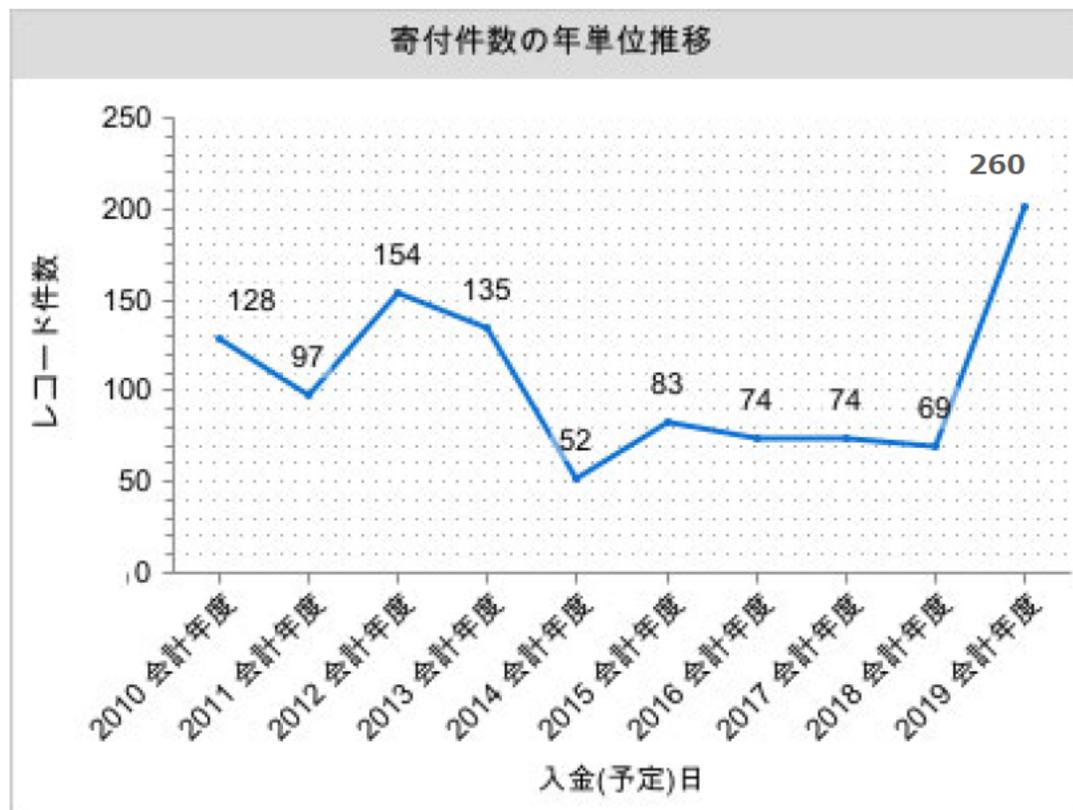
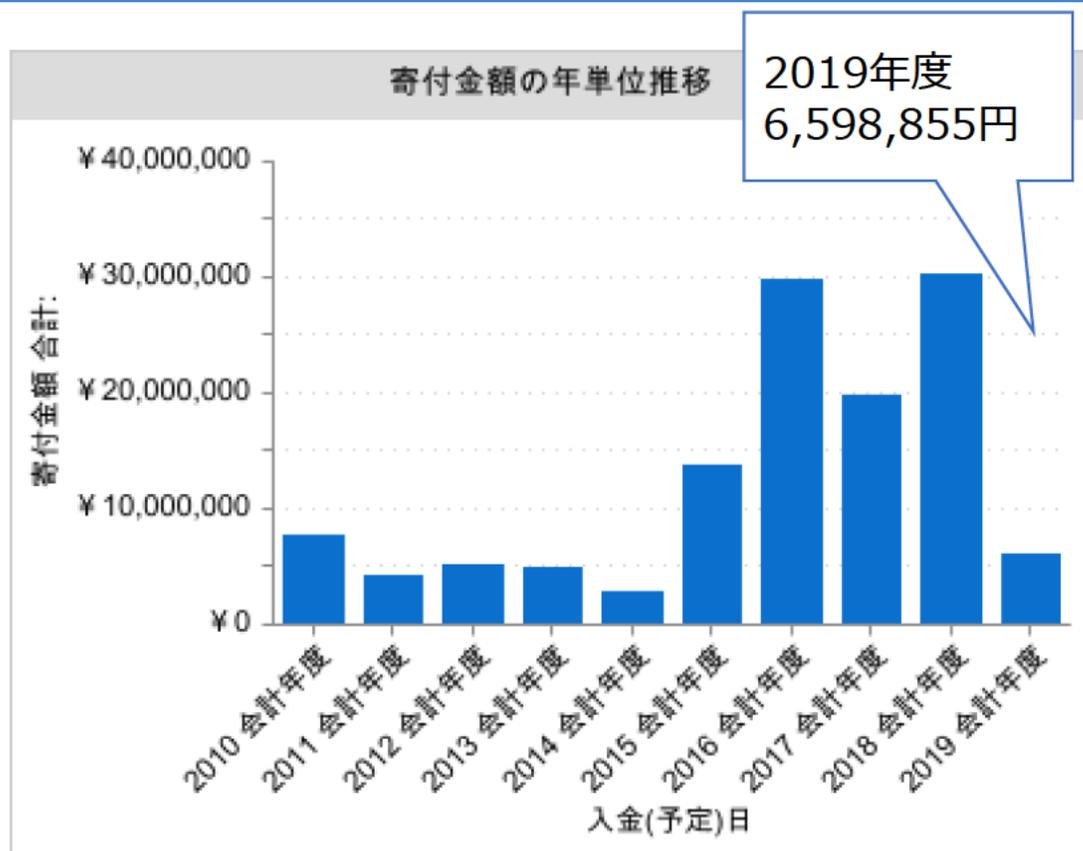
1/16 第1回那覇会場  
1/22 第2回石垣会場  
1/26 第3回宮古島会場



▲内定団体オリエンテーション

日時：2020年3月19日(木) 10:00~17:00  
場所：沖縄県立美術館・博物館 県民アトリ  
講師：ケイスリー株式会社  
代表取締役CEO 幸地正樹氏  
/ 取締役CKO 落合千華氏

# 寄付金額と件数の推移



寄付金額

**124,786,729円**

延べ寄付者数

**1,126件**

## 公1 情報流通事業

沖縄の寄付文化醸成のため全国との連携を図っている。2019年度は、当財団は協会の副会長に就任した。会員数は、正会員17団体、準会員8団体と年々増加傾向にあります。当財団は九州ブロック理事として参画し、全国におけるコミュニティ財団の信頼性の向上と政策提言、環境整備に努めています。また、全国レガシーギフト協会の理事にも就任し、遺贈寄付の推進に取り組んでいる。

12月には、全国で寄付を推進する月間として、「寄付月間Giving December 欲しい未来へ、寄付を送ろう」が行われた。当財団も寄付月間推進委員として沖縄での推進に取り組み、沖縄県とともに沖縄県立図書館3階展示コーナーで寄付月間パネル展を開催した。

「公1 情報流通事業」は依然として資金の調達が難しい構造になっており、新しい事業資金の調達方法を考えていく必要があると考える。

# 公1 情報流通事業 実施した事業

区分	事業名	実施時期	事業の概要
公1 -1)	公益ポータル運営	通年	NPOデータベース登録数：現在335団体 今年度は更新ページを少し工夫して読み物ページなど検索に当たりやすい施策を行っていく。また、どのページで離脱しているのかを計測・判断し、「ページ離脱」の改善も行っていく。
公1 -2)	他機関連携・情報収集	—	全国の動向を知り、沖縄での寄付文化醸成に寄与するため、各機関の研修やフォーラムへ参加した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・おきなわ市民活動支援会議へ参加（月1回）</li> <li>・全国コミュニティ財団協会（以下全コミ財） 副会長 理事会、研修会への参加</li> <li>・全国レガシーギフト協会 理事</li> <li>・寄付月間Giving December 欲しい未来へ、寄付を送ろう</li> <li>・寄付月間推進委員</li> <li>・委員：沖縄子どもの未来県民会議 事業推進部会 委員（小阪）</li> </ul>

区分	事業名	実施時期	事業の概要
公1 -4)	ソーシャル・ヒトワクの放送	月1~2本 再放送あり (4本)	NPOの活動紹介と、NPOの活動を紹介するトーク番組をタイフーンfm (78.0MHz)で放送した。  NPOヒトワク- 放送回数12回 (2010年度からの通算201回)
公1 -5)	みらいファンドニュースの発行	月1回程度 臨時号あり	メール、Facebookなど即時性を活かした情報発信を行う。助成やイベント等の情報を発信し、NPOのみならず社会貢献に関心のある方へ情報を提供し、参加機会の提供を行う。

## 公2 資金循環事業

「寄付と助成のプログラム」では第11期が寄付募集活動支援期間が終了し、第12期は、2事業が採択され寄付募集を行っている。また、寄付と助成のプログラムたくすの高額寄付募集として、カスタマイズ（募集期間・手数料が異なる）を行い、今年度も寄付募集を継続し多額の寄付を寄せていただいています。

じぶん基金の一つである新崎盛暉平和活動奨励基金では、助成の実施から事業報告会まで実施した。助成個人名称を冠したDAF（ドナー・アドバイズド・ファンド）の創設に引き続き力を入れており、琉球宇温基金が新たに誕生した。

今年度は公2 - (5) 休眠預金の資金分配団体に決定しました。休眠預金は、沖縄の課題解決のための新たな資金源として考え、部活動遠征費の課題解決に取り組むこととし、事業名を沖縄・離島子どもの派遣基金とした。2019年度は資金分配実行団体を募集し、3団体を内定した。

マッチングイベントでは、2010年度より開催を重ねてきた「地域円卓会議」は引き続き好評で、2019年度は11回開催した。

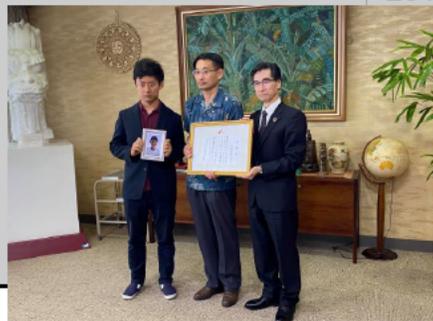
区分	事業名	実施時期等	事業の概要
公2 - (1)	テーマ型基金 世界若者ウチナンチュ大会支援基金	2012年6月設置	今年度は特に活動なし。基金の今後の展開については、今後も継続することが確認された。
公2 - (1)	テーマ型基金 沖縄まちと子ども基金	2012年12月設置	<p>第4期 採択団体：1団体</p> <p>事業名：SDGsを通して子どもの権利を考える調査                      団体名：NPO法人沖縄青少年自立援助センターちゅらゆい                      助成金額：417,000円</p> <p>選考会                      日時：2019年8月26日（月） 17：00～17：30                      場所：みらいファンド沖縄事務局</p>

区分	事業名	実施時期等	事業の概要
公2 -2)	寄付と助成のプログラム 第11期たくす	寄付募集支援期間 2018年9月～2019年8 月	第11期たくす 2018年9月～2019年8月 採択団体：3団体 ・NPO乳がん患者の会 ぴんく・ぱんさー ・琉球フィルハーモニー管弦楽団 ・NPO法人 沖縄青少年自立援助センター ちゅらゆい  寄付受入総額 1,866,000円 助成総額 1,586,100円
公2 -2)	寄付と助成のプログラム 第12期たくす	寄付募集支援期間 2019年9月～2020年8 月	募集期間：2019年7月9日～8月9日 対象事業募集 説明会 今年度は継続団体のみのため説明会を行わなかつた  選考会： 日時：2019年8月26日（月）17:30～18:00 場所：みらいファンド沖縄事務所  採択団体：2団体 ・NPO乳がん患者の会 ぴんく・ぱんさー ・NPO法人 沖縄青少年自立援助センター ちゅらゆい  寄付募集目標総額 8,280,000円

区分	事業名	実施時期等	事業の概要
公2 -2)	寄付と助成のプログラム たくす カスタマイズ	寄付募集支援期間	申請団体：一般社団法人長生楽 採択結果：条件付き採択  寄付募集目標総額：3,000,000円 件数：2件 寄付総額：1,160,000円（2019年3月31日現在）
公2 -2)	寄付と助成のプログラム たくす カスタマイズ 新規	寄付募集支援期間	寄付と助成のプログラムたくすのカスタマイズ 高額寄付募集のため、・期間（寄付募集、助成） ・手数料 以外は、通常版とは異なるが、それ以外は寄付と助成のプログラムたくすと 同じ仕様 ・選考会： 日時：2019年11月2日（土） 場所：みらいファンド沖縄事務所（電磁的方法での実施） ・採択団体：株式会社 うむさんラボ ・寄付募集目標総額：10,000,000円
公2 -2)	寄付と助成のプログラム たくす カスタマイズ 新規	寄付募集支援期間 2019年11月～	申請団体：沖縄デジタルアーカイブ協議会 ・選考会： 日時：2019年11月2日（土） 場所：みらいファンド沖縄事務所（電磁的方法での実施） ・事業名：首里城アーカイブ基金 ・寄付募集目標総額：10,000,000円 ・件数：30件 寄付総額：791,803円（2020年3月31日現在）

区分	事業名	実施時期等	事業の概要
公2 - (3)	じぶん基金（個人創案型基金） J003 宮里大八国際交流基金	寄付募集支援期間 2015年9月～	Okinawan Dreams Project2019 沖縄における児童養護施設やひとり親の家庭の子どもたちを対象に、英語によるコミュニケーションを学び、海外留学体験をサポートするプログラム。 ・募集期間：2019年7月8日（火）～7月29日（月） ・助成決定数：2人 / 応募総数7人 ・寄付受入総額は、3,568,029円（2020年3月31日現在）
公2 - (3)	じぶん基金（個人創案型基金） J004 新崎盛暉平和活動奨励基金	2017年1月設置  寄付募集支援期間 2017年3月～	沖縄の歴史を踏まえ、沖縄の平和と人権を守り、沖縄を世界の平和の拠点とする市民の創造的実践活動、研究活動を助成することを目的として、この基金を設置します。 ・（第3期）募集期間：2019年5月15日（水）～6月15日（土） ・選考会：日時：2019年6月24日（月）18:30～20:30 場所：みらいファンド沖縄事務所 ・助成金額：30万円 北上田 毅さん（辺野古軟弱地盤問題の情報公開請求活用者） 助成交付式および記念講演会 日時：2019年11月12日 18:30～20:30 場所：那覇市民活動支援センター
公2 - (3)	じぶん基金（個人創案型基金） J005 琉球宇温基金 新規	寄付募集支援期間 2019年7月～	志半ばで亡くなった宇温が参画していた活動をサポートし、課題の解決に貢献すると共に彼の遺志を引き継ぎ、彼の「幸せをつなぐ」という志を引き継ぎたい家族と有志が集まり、この基金を設立。 ・寄付募集目標金額：10,000,000円 ・選考会：日時：2019年7月11日（木）19:00～20:00 場所：みらいファンド沖縄事務所 ・助成金額：30万円×2件 1. 特定非営利活動法人アメラジアンスクール・イン・オキナワ 2. 一般社団法人 大学コンソーシアム沖縄

贈呈式の様子  
2.25 琉球大学学長と



区分	事業名	実施時期	概要と事務局所感
公2 -(1~3)	以上の基金・プログラムのファンドレイジング等の支援に関する業務	1月	遺贈寄付勉強会の実施 参加団体 みらいファンド沖縄、シナジープラス、TAパートナーズなど
公2 -(5)	地域づくりのための 助成事業活用シンポジウム	2月22日の予定延 期	地域づくりのための助成事業活用シンポジウム  日 時：2020年2月22日（土）13:00～17:00 場 所：沖縄県総合福祉センター ゆいホール ※新型コロナウイルスのため開催延期  ■主 催 地域づくりのための助成事業活用シンポジウム実行委員会 ■構成団体 沖縄県地域づくりネットワーク、おきなわアジェンダ21 県民会議、沖縄県企画部、（公社）沖縄県地域振興協会、社会福祉法人 沖縄県共同募金会、社会福祉法人沖縄県社会福祉協議会、（公財）沖縄 県文化振興会、沖縄銀行、琉球銀行、沖縄ろうきん、コープ沖縄、沖縄 子どもの未来県民会議、琉球新報、（公財）みらいファンド沖縄

\* 公2-(4)キャンペーン型基金については当年度は実施していない

区分	事業名	実施時期	概要と事務局所感
公2 -5)	休眠預金 資金分配団体申請	7月-11月	7/30 申請書類提出 10/1 内定団体通知 10/9 資金分配団説明会 (JANPIA事務所) 10/24 JANPIA-PO 未来ファンド事務所にて打合せ 11/15 JANPIA意見交換会 (JANPIA事務所) 11/26 資金提供契約 締結
公2 -5)	休眠預金交付金事業 沖縄・離島の子ども派遣基金事業	12月-	地域円卓会議の開催 子どもたちの部活動における派遣費用負担を考える 日時：12月21日 場所：琉球大学 説明会の実施 1/16 第1回 説明会 (那覇会場 30名) 1/22 第2回 説明会 (石垣会場) 1/26 第3回 説明会 (宮古島会場) 実行団体募集期間：1/16-2/20 申請団体数：5団体 選考会の実施 日時：2020年3月5日 (木) 13:30~15:00 場所：未来ファンド沖縄 事務所 選考委員：4名 内定団体オリエンテーション 日時：2020年3月19日 (木) 10:00~17:00 場所：沖縄県立美術館・博物館 県民アトリエ 講師：ケイスリー株式会社 代表取締役CEO 幸地正樹 氏 / 取締役CKO 落合千華 氏

\* 公2-(4)キャンペーン型基金については当年度は実施していない

## 公2 資金循環事業

区分	事業名	実施時期等	事業の概要
公2 -6)	地域円卓会議の開催・支援	通年	地域の社会的課題の解決のための対話の場である「地域円卓会議」の開催・支援を行った。 地域円卓会議：11回 参加人数：約490名

	日付	内容	主催	参加人数
1	8/31 (日)	宮古みらい地域円卓会議	内閣府	58名
2	9/7 (土)	大学生の貧困を考える地域円卓会議	関東学院大学	60名
3	10/11 (金)	子どもの貧困と児童労働のつながりを考える地域円卓会議	認定NPO法人ACE	54名
4	11/7 (木)	沖縄子どもの未来県民会議地域円卓会議 (子どもの貧困)	沖縄県、 沖縄子どもの未来県民会議	23名
5	11/26 (火)	みんなで考えよう！「深夜の子連れ飲食の制限について」大円卓会議	浦添市	約100名
6	12/21 (土)	子どもたちの部活動における派遣費用負担を考える地域円卓会議	公益財団法人みらいファンド沖縄	38名
7	1/25 (土)	沖縄子どもの未来県民会議地域円卓会議 (子供たちの体験)	沖縄県、 沖縄子どもの未来県民会議	32名
8	1/26 (日)	宮古島とSDGsを考える地域円卓会議	宮古島市	21名
9	1/27 (月)	「FIFAバスケットボールワールドカップ2023」の受入体制構築に向けた地域円卓会議	沖縄市	54名
10	2/12 (水)	沖縄子どもの未来県民会議地域円卓会議 (子供たちの支援)	沖縄県、 沖縄子どもの未来県民会議	32名
11	2/15 (土)	まちぐわーと食を考える地域円卓会議	那覇市 経済観光部なはまち振興課	20名

区分	事業名	実施時期	概要と事務局所感
公2 -(6)	コレクティブインパクト事業	通年	<p>沖縄における重要課題において、コレクティブインパクトで社会課題解決を行う事業に取り組む</p> <p>①沖縄県認知症高齢者見守り推進事業 ②子どもの貧困問題の解決</p>
公2 -(6)	寄付月間2019	12月	<p>寄付月間パネル展の実施 期間：2019年12月4日（水）～2020年1月6日（月） 場所：沖縄県立図書館3階展示コーナー 参加：NPO4 民間3 沖縄県1 大学1 共催：沖縄県、琉球大学、みらいファンド沖縄 内容： ・寄付月間2019について ・首里城火災復旧・復興支援寄附金に関するパネル展示 ・参加団体パネル（活動の紹介）     公益財団法人みらいファンド沖縄     琉球大学基金室 ・沖縄子どもの未来県民会議 ・NPOの活動パネル</p>
公2 -(6)	各種勉強会の開催	随時	特になし

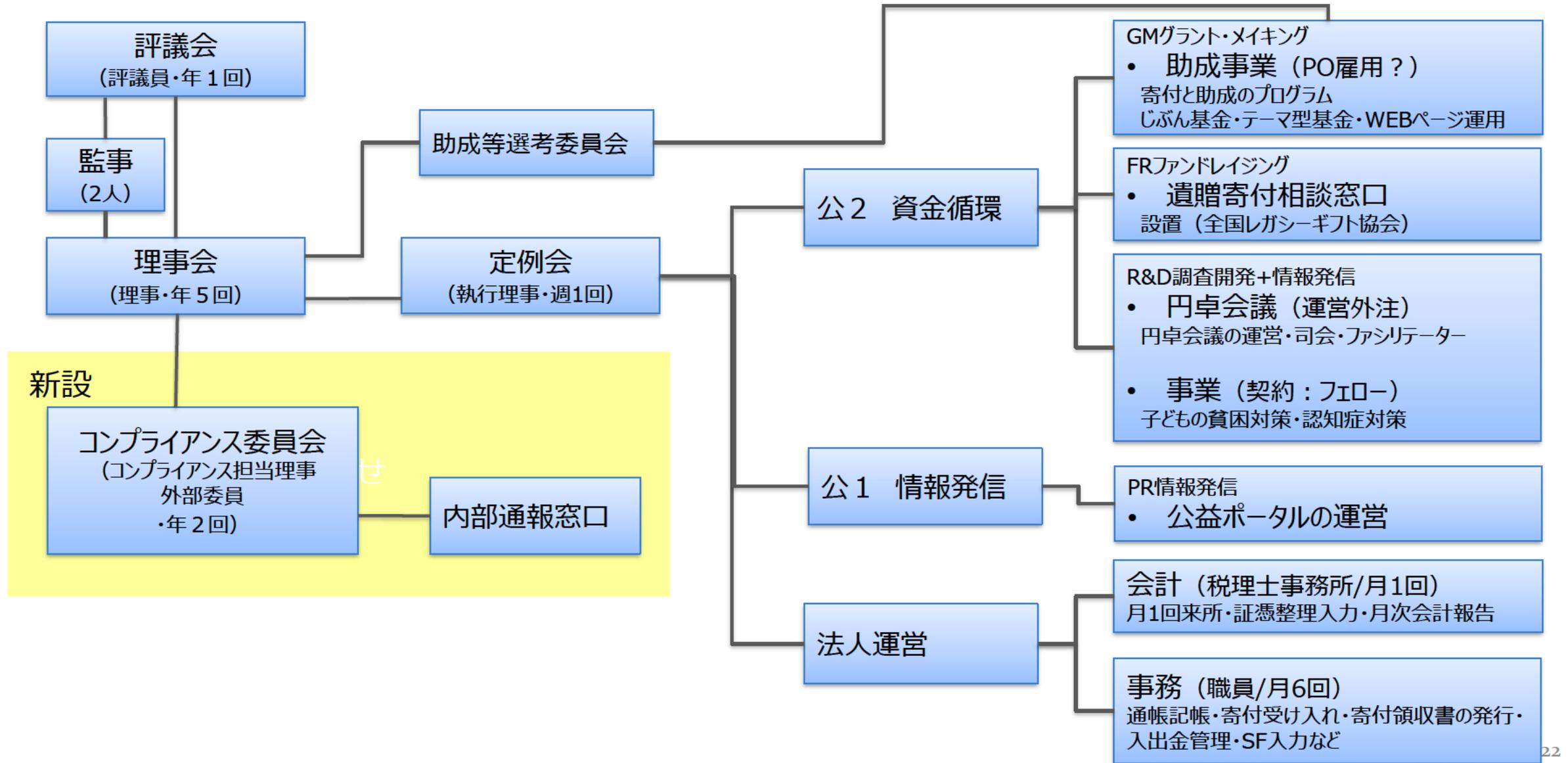
\* 公2-(7)寄付付き商品の企画・提案・コーディネートについては当年度は実施していない

## 法人運営

新たに休眠預金交付金事業が実施したことから、より高いガバナンス・コンプライアンスが求められている。規定類を新たに追加、理事会にコンプライアンス委員会を新設し、内部通報窓口の設置もおこなうなど、ガバナンス・コンプライアンスの強化を図った。

区分	事業名	実施時期	概要と事務局所感
法人	評議員会の開催	6月	第1回 定期評議委員会2019年6月21日（金）10:00～11:30 前年度事業報告の承認など 場所：みらいファンド沖縄 事務所 第2回 2019年10月11日（電磁的方法により実施）評議会運営規則の承認 第3回 2019年12月5日（電磁的方法により実施） 理事の選任
法人	監事監査の実施	5月	日時：2019年5月14日（火）10:00～12:00 場所：みらいファンド沖縄 事務所 監事2名
法人	理事会の開催	通年	場所：みらいファンド沖縄 事務所 第1回 2019年5月28日（火）10:00～12:00 前年度事業報告の承認など 第2回 2019年7月6日（土）10:00～12:00 各規程の承認など 第3回 2019年11月26日（火）10:00～12:00 新事業実施にともなう補正予算の承認など 第4回 2020年2月4日（火）10:00～12:00 コンプライアンス委員会の設置など 第5回 2020年3月24日（火）10:00～12:00 次年度事業計画の承認など
法人	新設 コンプライアンス委員会の開催	3月	日時：2020年3月27日（金）10:00～11:00 場所：みらいファンド沖縄 事務所 コンプライアンス担当理事：知念忠彦 [Redacted] [Redacted] [Redacted] [Redacted]
法人	事務局体制	随時	定例会 毎週木曜日10時 常務理事2名にて実施（→12月より3名） [Redacted] 会計業務：大城税理士事務所に委託 月次報告 規定類の整備

# 当法人におけるガバナンス 組織体制



# 役員一覧

評議員（任期（4年）：2018年6月3日～2022年評議員会まで）

役職	氏名	所属
評議員	イナガキ ジュンイチ 稲垣 純一	沖縄電子ビジネス専門学校 理事
評議員	マキヤ ミツコ 真喜屋 光子	有限会社センチュリー経営企画（マキの靴）代表取締役
評議員	ノハ マサヒロ 饒波 正博	沖縄赤十字病院勤務 なは市民協議会
評議員	イトカズ ミキ 糸数 未希	NPO法人にじのはしファンド代表
評議員	モトムラ マコト 本村 真	琉球大学キャリア教育センター センター長・人文社会学部教授
評議員	ツヅキ ヨウコ 續 洋子	NPO法人1万人井戸端会議 副代表/事務局長

理事（任期（2年）：2018年6月22日～2020年評議員会まで）

役職	氏名	所属
理事 代表理事	コサカ ワタル 小阪 亘	特定非営利活動法人まちなか研究所わくわく 代表理事
理事 副代表理事	タイラ トウセイ 平良 斗星	株式会社エフエム那覇 会長
理事	オナガ コウキ 翁長 有希	一般社団法人沖縄県キャリア支援・教育連携協議会 理事 一般社団法人be.らぼらとり 代表理事
理事	テルキナ トオル 照喜名 通	沖縄県難病相談支援センター 認定NPO法人 アンビシャス 副理事長
理事	チネン タダヒコ 知念 忠彦	医療法人天仁会 天久ヒルトップ 施設長

監事（任期（4年）：2018年6月22日～2022年評議員会まで）

役職	氏名	所属
監事	ナシロ ヨシエ 名城 佳枝	大学非常勤講師、ファイナンシャルプランナー、沖縄県金融広報アドバイザー
監事	ヤマザキ アラタ 山崎 新	株式会社おきなわedu 取締役

# 組織概要

名称	 公益財団法人 みらいファンド沖縄
英名	Mirai Fund Okinawa Inc. Foundation
設立年月日	2010年4月23日
公益認定日	2011年4月1日
事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
代表理事	小阪 亘
設立経緯	財団設立供出金300万円を 93名の市民から寄付を頂いて 設立
住所	〒903-0824 沖縄県那覇市首里池端町34 2Fタイフーンfm内
加盟団体	一般社団法人全国コミュニティ財団協会 一般社団法人全国レガシーギフト協会

みらいファンド沖縄は、市民のみなさまからの寄付により、設立した「市民立」の財団です。

沖縄の公益活動団体を意志ある人々によって支え合う——みらいファンド沖縄の設立趣意に共感し、設立時拠出金をご寄付くださいましたみなさまに、感謝申し上げます。



## 設立時拠出金に寄付くださったみなさま

(五十音順・敬称略)

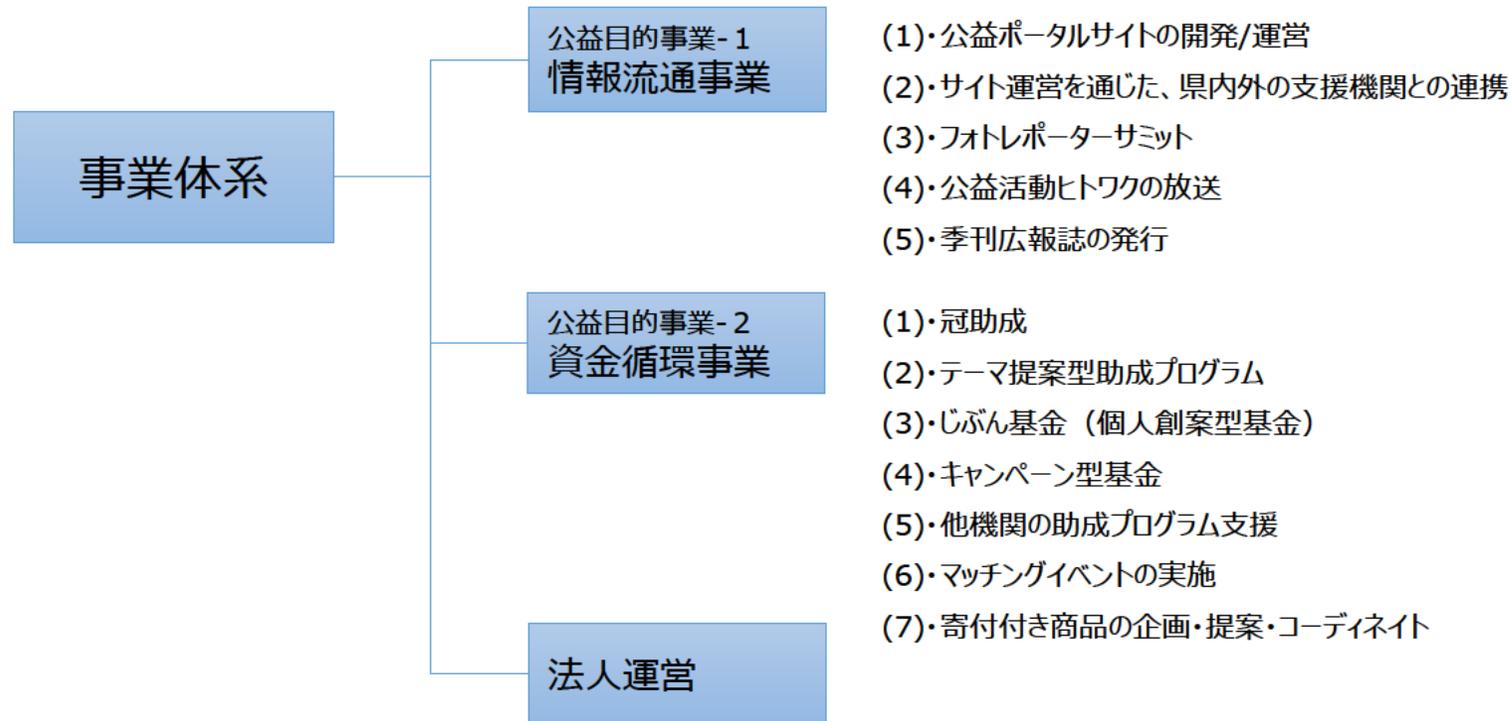
秋葉 武 新井 裕子 新垣 八重子 (有)新垣ちんすこう菓子店  
有井 安仁 東濱 克紀 認定NPO 法人アンビシャス  
石原 達也 今津 新之助 岩田 直子 (株)エフエム那覇  
(株)エフエム21 遠藤 聡志 大城 逸子 大城 喜江子  
大城 幸代 大城 成信 大城 武久 大見謝 恒章  
NPO 沖縄シニアの会 川北 秀人 菊之露酒造(株) 金城 嘉志  
金城 和光 (株)クレイ沖縄 古我知 浩 小阪 亘 小橋川 繁  
小松 かおり 呉屋 貴司 佐久間 愛弓 下地 美香  
(特活) 首里まちづくり研究会 佐脇 広平 新開 育恵  
新星出版(株) 杉浦 幹男 関口 宏聡  
税理士法人添石総合会計事務所 添石 幸伸  
(特活) ソーシャル・デザイン・ファンド 平良 斗星 平良 恵津子  
地域情報エージェント(株) 知花 茂 知念 金徳  
(特活) ちゅらしまフォトミュージアム 當間 愛晃 戸田 幸典  
渡真利 雅男 仲村 一真 中村 聡 (特活) 日中文化交流センター  
比嘉 司 平井 雅 福岡 智子 前田 比呂也 真喜屋 光子  
(特活) まちなか研究所わくわく 松本 哲治 宮里 大八  
宮道 喜一 宮島 さおり 米野 史健 山城 岩夫 山城 司  
与儀 隆一 與古田 清順 (特活) ライフサポートてだこ  
(有) ルーツ 若尾 貴広 若尾 美希子 渡邊 真寿美  
匿名にて寄付くださった方々

(合計 93名、300万円)

当財団は、市民コミュニティ財団として公益法人格を有して、以下の公益目的事業を実施する。

コミュニティ財団とは、地域の人々によって設立され、地域のために活動する慈善事業組織です。この組織は、地域からの寄付によって成り立ち、市民によって構成される理事会によって運営され、地域社会のより良い暮らしのために活動しています。資金源は多種多様であり、地域社会の長期的な生活の質の向上のために活用されています。これらの資金は地域社会の代表の選択により各種組織・目的に向けて配分されます。

(全国コミュニティ財団協会資料より抜粋)



## 受入れ寄付額と助成の実績（2010-2019）

		受入寄付 年度達成額	受入寄付 累積達成額	助成金交付 年度実施額	備考
2010 (第1期)	立上期 財団機能 基盤構築	9,197,780円	9,197,780円	5,755,250円	・受入寄付額には拠出金を含む ・震災関連寄付を含む
2011 (第2期)		3,824,684円	13,022,838円	2,427,218円	・受入寄付額にはみらいファンド 沖縄への寄付を含む ・震災関連寄付を含む
2012 (第3期)		5,170,037円	18,194,341円	3,709,315円	・受入寄付額にはみらいファンド 沖縄への寄付を含む
2013 (第4期)	助成プログラ ム・円卓会議 の確立	4,920,777円	23,115,118円	2,383,834円	・受入寄付額にはみらいファンド 沖縄への寄付を含む
2014 (第5期)		2,760,362円	25,875,480円	2,549,919円	・受入寄付額にはみらいファンド 沖縄への寄付を含む
2015 (第6期)		12,718,093円	38,593,573円	1,745,517円	・受入寄付額にはみらいファンド 沖縄への寄付を含む
2016 (第7期)	FR機能の 強化・確立	29,679,412円	68,272,985円	1,325,250円	・受入寄付額にはみらいファンド 沖縄への寄付を含む
2017 (第8期)		19,839,830円	87,839,405円	3,287,547円	・受入寄付額にはみらいファンド 沖縄への寄付を含む
2018 (第9期)		30,349,469円	118,188,874円	70,000,454円	・受入寄付額にはみらいファ ンド沖縄への寄付を含む
2019 (第10期)					

## 略年表 (2009-2013)

年度	みらいファンド沖縄の主なできごと	社会の主なできごと
2009 H21	<ul style="list-style-type: none"> <li>•キックオフフォーラム</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>•衆議院選挙で民主党圧勝</li> <li>•裁判員制度施行</li> </ul>
2010 H22	<ul style="list-style-type: none"> <li>•法人設立</li> <li>•那覇市「地域づくり・公益活動支援事業」受託（緊急雇用事業）</li> <li>•「じぶん基金」プログラム2基金スタート</li> <li>•沖縄NPOデータベース公開</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>•普天間基地の辺野古移転が白紙に</li> <li>•沖縄県民税の寄附金控除対象法人が拡大</li> <li>•「新しい公共」円卓会議</li> <li>•11月 仲井眞知事 再選</li> <li>•12月 ISO26000発効</li> <li>•3/11 東日本大震災</li> </ul>
2011 H23	<ul style="list-style-type: none"> <li>•公益財団法人化</li> <li>•「寄付と助成のプログラム」スタート</li> <li>•H23「沖縄県新しい公共支援事業」受託</li> <li>•クレジットカードにて寄付決済サービス開始</li> <li>•PSTをクリアし、税額控除認定を受ける</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>•6月 新しい市民公益税制が成立</li> <li>•6月 改正NPO法が成立</li> <li>•7月 なでしこジャパン FIFA杯優勝</li> <li>•10月 世界のウチナーンチュ大会</li> </ul>
2012 H24	<ul style="list-style-type: none"> <li>•H24沖縄県「新しい公共支援事業」受託</li> <li>•「世界若者ウチナーンチュ大会支援基金」設置</li> <li>•カンパイチャリティを開催</li> <li>•「沖縄まちと子ども基金」設置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>•4月 新認定NPO法人制度スタート</li> <li>•5月 沖縄の本土復帰40周年</li> <li>•8月 ロンドンオリンピック</li> <li>•11月 那覇市長に翁長氏が4選</li> <li>•12月 衆議院選挙で自民党圧勝</li> <li>•2月 浦添市にNPO出身の市長が誕生</li> </ul>
2013 H25	<ul style="list-style-type: none"> <li>•4月 事務局をタイフーンfm内に移転</li> <li>•6月 国交省 事業受託</li> <li>•7月 累積寄付受入額 2000万円を突破</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>•4月 インターネット選挙解禁</li> <li>•6月 富士山が世界遺産に</li> <li>•11月 旧民法法人の移行特措期間終了</li> </ul>

# 略年表 (2014-2016)

年度	みらいファンド沖縄の主なできごと	社会の主なできごと
2014 H26	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6月「寄付と助成のプログラム」を再編し公募開始</li> <li>・6月一般社団法人全国コミュニティ財団協会設立、設立時九州ブロック理事として参画</li> <li>・3月全国コミュニティ財団協会海外招聘事業フォーラム・研修 「米国のコミュニティ財団100年の歴史に学ぶ」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月 消費税増税（8%に）</li> <li>・5月 日本創生会議が自治体の896が消滅の危機にあると発表。地方消滅（通称増田レポートの発表）</li> <li>・9月 第2次阿部内閣にて、地方創生担当大臣に石破茂とまち・ひと・しごと創生本部を設置。</li> <li>・9月 FIFAワールドカップ ブラジル大会</li> <li>・12月 沖縄県知事に翁長雄志氏が当選</li> <li>・2月 介護保険制度の改正（要支援1, 2が予防給付の対象除外に）</li> </ul>
2015 H27	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10月 じぶん基金 宮里大八国際交流基金を設置</li> <li>・12月 寄付月間、全国規模の寄付推進の取り組み、寄付月間推進委員として、沖縄で寄付推進に取り組む</li> <li>・1月 遺贈寄付 第1号を受け入れる</li> <li>・2月8日 みらいファンド沖縄5周年記念イベント ドネーションパーティ&amp;サンクスデー</li> <li>・琉球大学、名城大学とCOC+円卓会議開催（県内5カ所）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普天間基地の辺野古移転が白紙に</li> <li>・沖縄県民税の寄附金控除対象法人が拡大</li> <li>・「戦後70年談話」</li> <li>・9月10日 関東・東北豪雨 鬼怒川氾濫</li> <li>・9月19日 参院本会議で“安保法”可決</li> <li>・11月13日 「パリ同時多発テロ」発生</li> <li>・12月 寄付月間が、寄付を推進する全国的な取り組みが初めておこなれた。</li> <li>・2月 国勢調査で初めて人口減少 1920年の調査開始以来初めて。</li> </ul>
2016 H28	<ul style="list-style-type: none"> <li>・7月 沖縄県が、県内の深刻な子どもの貧困の解決に向けて 沖縄子ども未来県民会議を設置 事業部会の委員として参画</li> <li>・11月 マニフェスト大賞 優秀賞 受賞</li> <li>・11月 全国レガシーギフト協会 設立総会（みらいファンド沖縄加盟）</li> <li>・税額控除認定 更新</li> <li>・1月 新崎盛暉平和活動奨励基金 を設置</li> <li>・累積寄付受入額 5000万円を突破</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1月 日銀がマイナス金利政策を導入したことにより、 長期金利が過去最低を更新</li> <li>・4月14日、16日 熊本地震、初めて震度7が2回観測</li> <li>・5月 伊勢志摩サミット オバマ米大統領が広島訪問</li> <li>・12月2日 休眠預金活用法成立</li> <li>・1月 ドナルド・トランプの第45代アメリカ合衆国大統領就任</li> </ul>

## 略年表 (2017-2019)

年度	みらいファンド沖縄の主なできごと	社会の主なできごと
2017 H29	<ul style="list-style-type: none"> <li>•11月 助成財団シンポジウム（助成財団センター）と実施</li> <li>•1月 沖縄県で初めて遺贈寄付研修をNPO向け、土業向けに実施</li> <li>•3月 沖縄県が寄付月間2017で賛同パートナー特別賞を受賞</li> <li>•3月 1年間で16回の円卓会議を開催（過去で最高件数）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>•1月 トランプ大統領就任、米国第一主義を掲げる</li> <li>•3月 特定非営利活動促進法 成立20周年</li> <li>•7月 都議選で都民ファーストの会が躍進</li> <li>•9月 桐生 9秒98 日本人初の10秒台突破</li> <li>•10月 第48回衆議院選挙 自民党が3分の2議席</li> </ul>
2018 H30	<ul style="list-style-type: none"> <li>•6月 評議員、理事、監事改選</li> <li>•5月 寄付受入金額1億円突破</li> <li>•12月 みらいファンド沖縄活動報告書2010-2018発行</li> <li>•3月 沖縄式地域円卓マニュアル作成費のためのクラウドファンディング実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>•1月 仮想通貨流出、交換業者に改善命令</li> <li>•5月 将棋・藤井聡太、最年少で七段に</li> <li>•8月 翁長沖縄県知事死去</li> <li>•9月 玉城沖縄県知事就任</li> <li>•11月 2025年大阪万博開催決定</li> </ul>
2019 H31 R1	<ul style="list-style-type: none"> <li>•7月 うむさんラボと協定を結びうむさん基金を設置</li> <li>•11月 休眠預金交付金事業「沖縄子どもの派遣基金事業」事業スタート</li> <li>•3月 理事会にコンプライアンス委員会を設置し、第1回開催</li> <li>•3月 内部通報窓口の設置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>•1月 休眠預金-指定活用団体の決定</li> <li>•1月 休眠預金の発生</li> <li>•5月 新元号 令和</li> <li>•9月 台風・豪雨災害（台風15号、19号）</li> <li>•9月 ラグビーワールドカップが日本にて開催</li> <li>•10月 消費税10%に引き上げ</li> <li>•10月 首里城火災 正殿など焼失</li> <li>•11月 中国武漢にて新型コロナウイルス発生</li> </ul>

2020年度  
令和2年度  
第11期  
事業報告

2021年6月21日

2011年の、東日本大震災による寄付への関心・意識の高まりや、「市民公益税制」の整備、そして2012年の、内閣府の基金事業「新しい公共支援事業」をきっかけとする市民コミュニティ財団設立の動き、またクラウドファンディングの浸透など、寄付や社会貢献への意識や期待は高まっていた。2014年には、市民コミュニティ財団の全国組織である一般社団法人全国市民コミュニティ財団協会が設立。2016年には遺贈寄付を推進する全国レガシーギフト協会の設立（当財団加盟）や休眠預金活用に係る法律（2016年12月9日）の成立など、地域社会を構築していくための社会的投資の動きが活発になっています。一方で、市民の志を基にする社会資源を活用するには高い倫理規範と成果を求められている。

2020年度は第11期となり、新型コロナウイルスの感染拡大により、社会環境の変化が激しい年となった。県内で課題解決に取り組む団体にとって、新規ニーズや既存ニーズの拡大、今までの事業モデルの転換等、多くの変化が求められた。当財団では、公2の資金循環事業では、休眠預金事業の新型コロナウイルス対応緊急支援助成を活用し、コロナ禍での状況変化に対応するための助成事業を実施した。また、寄付と助成のプログラムにはコロナ禍での寄付金募集の相談が多く寄せられた。地域円卓会議では、コロナ禍で多くの人が集まったの会議が難しくなったことから、オンライン版の円卓会議を開発し、11回開催した。また改訂版の円卓マニュアル作成し販売、琉球大学の公共政策士の講義では全15講義の円卓会議の開催方法の講義を開講。ノウハウの提供に努めた。一方で、10周年事業などの事業は未実施となり、次年度に持ち越すととなった。

2020年度 方針  
に基づき事業実施

- ◆ 地域円卓会議を実施し課題の可視化と共有、ノウハウの提供
- ◆ 公益税制を活用した基金事業の実施
- ◆ 休眠預金交付金事業・沖縄・離島子どもの派遣基金事業の取組
- ◆ 寄付者の意思をより課題解決を促す資金として反映させるためにコレクティブインパクト基金のシステム構築
- ◆ 10周年事業の開催
- ◆ ガバナンスコンプライアンス体制の構築

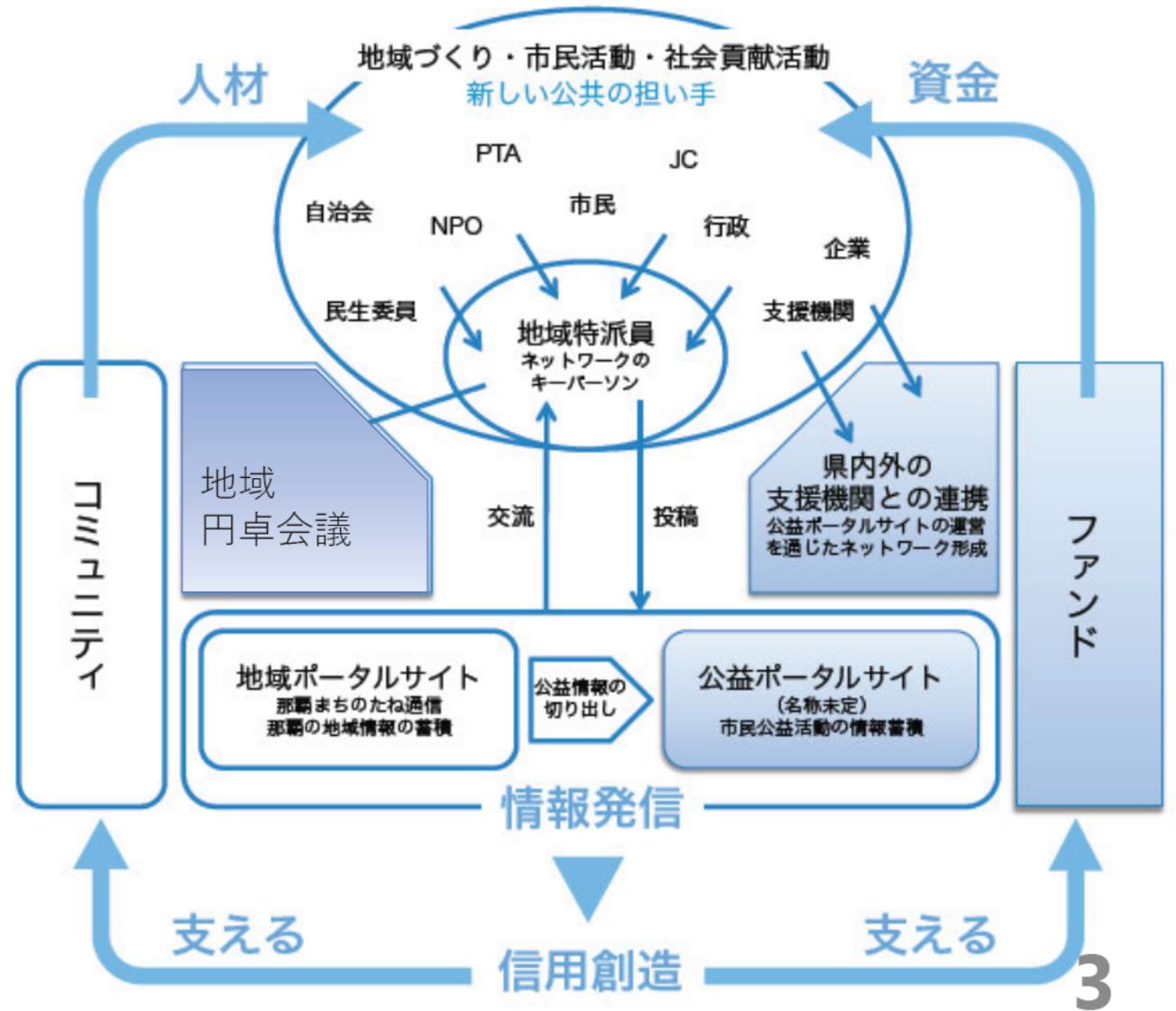
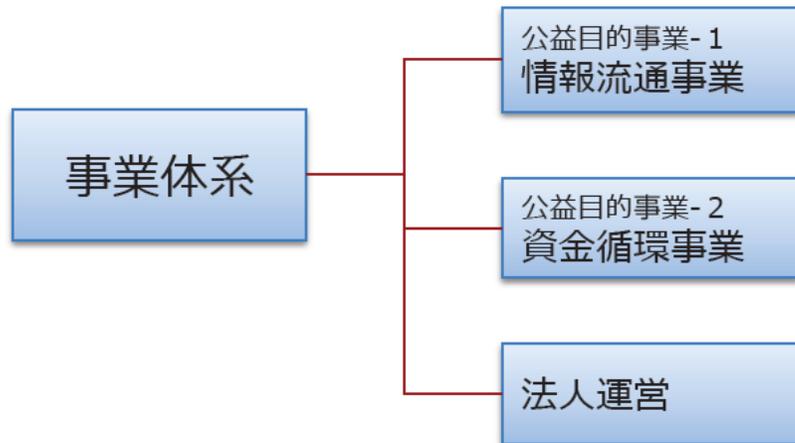
# 事業スキーム

社会の共感を育て、資金の循環を促すしくみの構築に取り組む

当財団は、市民コミュニティ財団として公益法人格を有して、以下の公益目的事業を実施する。

コミュニティ財団とは、地域の人々によって設立され、地域のために活動する慈善事業組織です。この組織は、地域からの寄付によって成り立ち、市民によって構成される理事会によって運営され、地域社会のより良い暮らしのために活動しています。資金源は多種多様であり、地域社会の長期的な生活の質の向上のために活用されています。これらの資金は地域社会の代表の選択により各種組織・目的に向けて配分されます。

(全国コミュニティ財団協会資料より抜粋)



### 社会の共感を育て、資金の循環を促す仕組みの構築

当法人は、沖縄における公益活動団体と、公益活動を支えたい企業、団体、個人等とを橋渡しするため、市民活動の社会的基盤の充実を図り、諸資源の循環をもたらすことで、地域のあらゆる主体が公益を担い、沖縄の未来を支え合う社会の実現に寄与することを目的とする。  
(定款第3条)

### 情報流通

市民活動の情報発信を促進し、市民の“共感”を育む

公益ポータルサイトの運営  
ソーシャル・ヒトワク  
広報誌等による情報発信  
県内外の寄付文化に関する情報収集と発信

### 資金循環

“共感”による寄付で、市民活動団体が自律的かつ継続的に活動できる環境づくりをめざす

市民活動を支援する基金の運営  
市民活動団体への寄付と助成のプログラム提供  
寄付文化を醸成するフォーラム等の開催  
他機関の助成プログラム等の支援  
企業CSR/CRMの促進

2019年度の受入寄付額 6,598,855円 (260件)  
前年度比 796,097円 (+125件)

## 基金

### 寄付総額 7,394,952円 (385件) 新基金設置5基金

- 2020年度内の採択：第13期たくす 2事業 (ぴんくぱんさあ・沖縄県女性の翼)  
カスタマイズ 4事業 (多文化ネットワークfuふ！おきなわ基金、ドネーションショップ基金、まちなか留学基金、ミマモライド基金)
  - じぶん基金：4基金 新崎盛暉平和活動奨励基金、宮里大八国際交流基金、琉球宇温基金、中野五海・篠木あつ子基金)
  - うむさん基金 (Ryukyufrogs基金、エンカレッジ基金)、沖縄まちと子ども基金
- 寄付募集目標総額 22,020千円 前年度受付寄付総額 659千円

### 寄付月間2020 沖縄パネル展の開催

- 沖縄県立図書館3階展示コーナーにて開催 (R2年12月16日～R3年1月4日)
- 参加：NPO1 沖縄県1 大学1



贈呈式 中野さん、篠木さんと採択者の秋山さん

## 助成

### 助成総額 44,208,552円 休眠預金事業含む

- たくす：第12期 2団体、第13期 1団体、たくすカスタマイズ 2団体 (日本こどもみらい、多文化ネットワークfuふ！おきなわ) — じぶん基金：新崎盛暉平和活動奨励基金 助成実施 1団体 (コープおきなわ)、琉球宇温基金 助成実施 2団体 (中野五海・篠木あつ子基金 (2名)、宮里大八基金 (2019年度助成の精算))

## 課題解決

### 地域円卓会議が好評！ 11回開催・支援

- 開催場所 (那覇市、沖縄市、オンライン開催)
- テーマ (子どもの貧困、コロナ禍の外国人留学生)
- 休眠部活円卓会議3本を主催

### 休眠預金等活用法に基づく資金分配団体に決定

- 一般財団法人日本民間公益活動連携機構 (JANPIA)助成事業  
事業名：沖縄・離島子どもの派遣基金事業
- 休眠預金活用事業-新型コロナウイルス対応緊急支援助成  
事業名：『コロナ禍で孤立したNPOとその先の支援』事業



オンライン円卓会議  
1/30 部活動派遣費問題を考える地域円卓会議

# ■ 休眠預金活用事業-新型コロナウイルス対応緊急支援助成 『コロナ禍で孤立したNPOとその先の支援』事業

事業総額：28,243,000円 助成総額：21,600,000円

## 実行団体一覧

1. 特定非営利活動法人1万人井戸端会議（助成金額：3,497,350円）  
**課題の見える化と行動できるコミュニティへ：コロナ禍をきっかけに日頃の地域力アップ**
2. 特定非営利活動法人沖縄NGOセンター（助成金額：3,596,520円）  
**多文化共生セーフティーネットワークの構築：コロナ禍のいま、地域で共に生きるために**
3. NPO法人沖縄県学童・保育支援センター（助成金額：3,600,000円）  
**コロナ禍だからこそ繋がる！：子どもたちに遊びを取り戻すために！**
4. 一般社団法人おきなわジュニア科学クラブ（助成金額：3,006,377円）  
**子どもの居場所×フードパントリー：地域インフラとなる福祉連携の拠点づくり**
5. 特定非営利活動法人沖縄青少年自立援助センターちゅらゆい（助成金額：3,575,326円）  
**アンダーコロナに対応するICT整備事業**
6. 一般社団法人琉球フィルハーモニック（助成金額：3,600,000円）  
**音楽による子どもの居場所づくり：ジュニアジャズオーケストラ活動**

# 決算報告—経常増減の部

	2020年度 (a)	2019年度 (b)	差額 (a)-(b)	説明
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部 (1) 経常収益				
事業収益	1,718,500	4,423,402	-2,704,902	円卓会議の回数は前年比同数。休眠事業実施にともない主催円卓会議が増え収入減
受取補助金等	52,535,634	3,846,356	48,689,278	2019年度より休眠事業実施。2020年度は実行団体への助成実施。休眠新型コロナ緊急助成を実施したため
受取寄付金	6,115,092	5,305,956	809,136	
雑収益	61,718	110	61,608	
<b>経常収益計</b>	<b>60,430,944</b>	<b>13,575,824</b>	<b>46,855,120</b>	

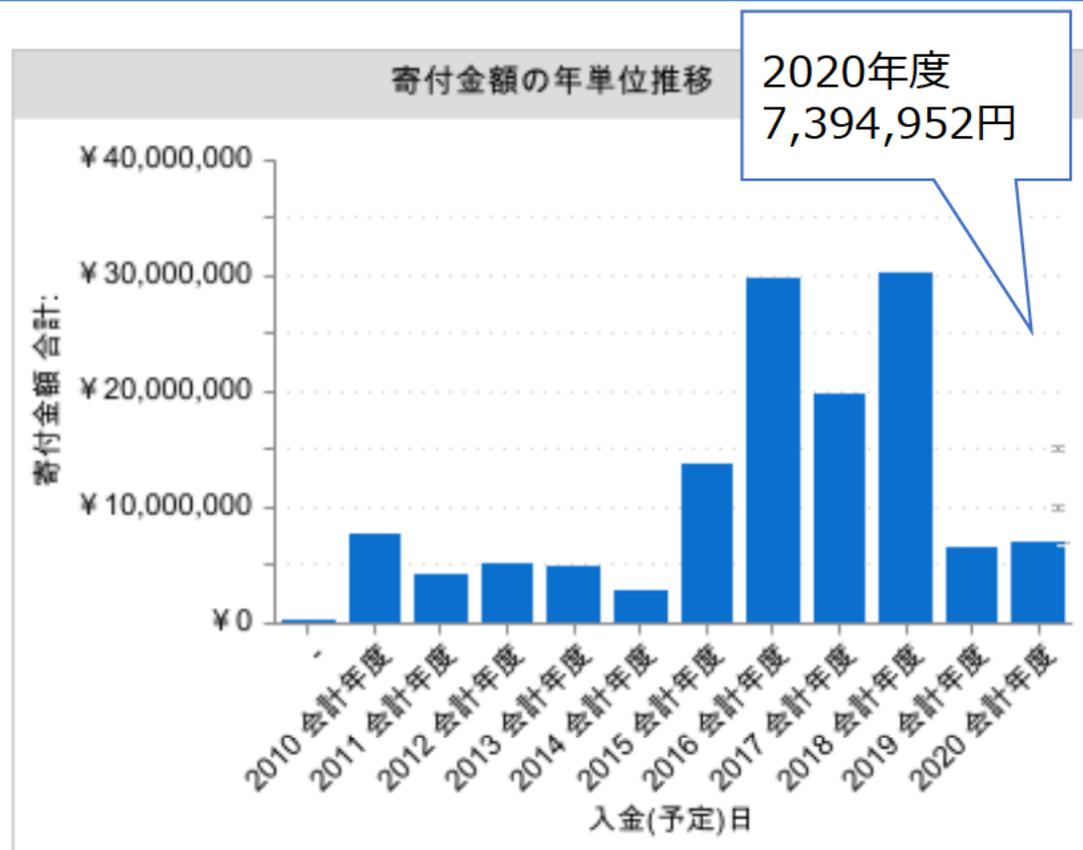
# 決算報告—経常増減の部

	2020年度 (a)	2019年度 (b)	差額 (a)-(b)	説明
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部（経常費用）				
事業費	54,876,836	12,643,118	42,233,718	
内人件費	5,291,247	2,893,292	2,397,955	休眠事業新型コロナ支援事業が増えたためスタッフ増員
内支払助成金	44,208,552	4,342,750	39,865,802	休眠預金事業の部活派遣事業とコロナ支援事業の助成金の内訳が39,888,015円
内その他経費	5,377,037	5,407,076	-30,039	
管理費	6,095,133	2,755,568	3,339,565	
<b>経常収益計</b>	<b>60,971,969</b>	<b>13,575,824</b>	<b>46,855,120</b>	経費のうち73%は助成金として支出
<b>当期経常増減額</b>	<b>-541,025</b>	<b>-1,822,862</b>	<b>1,281,837</b>	昨年度より赤字幅は縮小 収支相償はクリア

# 決算報告—経常増減の部

	2020年度 (a)	2019年度 (b)	差額 (a)-(b)	説明
<b>I 一般正味財産増減の部</b>				
当期一般正味財産増減額	-541,025	-1,822,862	1,281,837	
一般正味財産期首残高	3,494,792	5,317,654	-1,822,862	
<b>一般正味財産期末残高</b>	<b>2,953,767</b>	<b>3,494,792</b>	<b>-541,025</b>	
<b>II 指定正味財産増減の部</b>				
受取寄付金	7,394,952	6,560,495	834,457	
一般正味財産への振替額	6,115,092	5,305,956	809,136	
当期指定正味財産増減額	1,279,860	1,254,539	25,321	
指定正味財産期首残高	7,972,349	6,717,810	1,254,539	
<b>指定正味財産期末残高</b>	<b>9,252,209</b>	<b>7,972,349</b>	<b>1,279,860</b>	
<b>III 正味財産期末残高</b>				
<b>正味財産期末残高</b>	<b>12,205,976</b>	<b>11,467,141</b>	<b>738,835</b>	

# 寄付金額と件数の推移



寄付金額

**132,181,681円**

延べ寄付者数

**1,512件**

# 2020年度事業活動を通しての課題と2021年度申し送り事項（内部用スライド）

## 社会の共感を育て、資金の循環を促す仕組みの構築

### 情報流通

市民活動の情報発信を促進し、市民の“共感”を育む

### 資金循環

“共感”による寄付で、市民活動団体が自律的かつ継続的に活動できる環境づくりをめざす

### 法人運営

## 2020年度活動の課題（案）

- 公益ポータルサイト
- 情報流通の**コンセプトの再検討**⇒チャレンジのための情報開示。（**企業も含める**）
- 社会的信用、信用創造、公益とは何かの議論

- 市民が市民の活動を支える基金
- 基金設置後の**サポートができていない**。増えることがベンチマークなのか要検討
- 良い基金とは、みらいF（ゴミ財）としての関わりが基金作りの段階で企画に入ること。
- 平良POの負担増。売上も依存しており、**負担軽減、業務の細分化、分担。PO育成検討**
- 寄付を促す社会環境づくり
- 遺贈寄付、10周年が**未着手**

- 休眠預金交付金事業について
- 自己資金20%の確保に向け着手し、企業協賛も出てきたが、部活派遣費の**ファンドレイズの実施までには至らなかつた**
- 地域円卓会議について
- オンライン化によって、コロナ対応ができたが、**オンライン時による集客**に課題がある

- 法人運営業務が多忙に
- 休眠事業の管理的経費の按分で、費用負担の持ち出しは減っているが、**基金の増、休眠事業の事務業務で仕事量は増えている**

## 2021年度申し送り事項（案）

- 公益目的事業において、公益性の判断を情報開示で行っている。修正するにあたっては、公益目的の変更しない範囲で行う

- コミ財として、良い基金を世に出し**運営することが重要**。社会発信することが大事
- そのために**POの力が必要**で、現在、PO一人への依存体制から、業務分担をはかり、育成も
- 他組織（JANPIA、CFJ）と概念のすり合わせ
- 県内で**研修型でPO適正の人を集めて**みては
- 10周年事業は、みらいFの知見をアーカイブし、次の10年を発信する意味でも重要。単独では難しい。遺族寄付や休眠事業と**連動し実施検討**

- 休眠預金交付金事業
- 今年度中に自己資金20%の目途をつける
- 実際にどのタイミングでいくら必要か算出を
- 新規申請の場合は、事務負担を考慮して申請
- 地域円卓会議について
- オンライン、リアルを使い分け
- オンラインの開催後の発信が弱い

- システムの活用を通じて事務業務の効率化
- 休眠事業の負担増によって、他の基金事業に注力できていない。黒字化しやすい体質を

## 公1 情報流通事業

沖縄の寄付文化醸成のため全国との連携を図っている。2020年度は、当財団は協会の副会長に就任した。会員数は、正会員20法人、準会員10法人、賛助会員3法人と年々増加傾向にあります。全国におけるコミュニティ財団の信頼性の向上と政策提言、環境整備に努めています。また、全国レガシーギフト協会の理事にも就任し、遺贈寄付の推進に取り組んでいる。

「公1 情報流通事業」は、設立時より公益ポータルサイトを運営しているが、10年の経過とともに、見直しの必要に迫られている。本年度は、公益目的事業の要件を満たしながら、慎重に見直しを進めている。また、円卓マニュアルの改訂を行い、販売を行った。依然として資金の調達ที่難しい構造になっており、新しい事業資金の調達方法を考えていく必要があると考える。

# 公1 情報流通事業 実施した事業

区分	事業名	実施時期	事業の概要
公1 -1)	公益ポータル運営	通年	今年度はページ再構築中のためPV数などのカウントは行わなかった。更新ページを少し工夫して読み物ページなど検索にあたりやすい施策を行っていく。また、どのページで離脱しているのかを計測・判断し、「ページ離脱」の改善も行っていく。
公1 -2)	他機関連携・情報収集	—	<p>全国の動向を知り、沖縄での寄付文化醸成に寄与するため、各機関の研修やフォーラムへ参加した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おきなわ市民活動支援会議へ参加（月1回）</li> <li>・全国コミュニティ財団協会（以下全コミ財） 副会長 理事会、研修会への参加</li> <li>・全国レガシーギフト協会 理事</li> <li>・寄付月間Giving December 欲しい未来へ、寄付を送ろう</li> <li>・寄付月間推進委員</li> </ul>

区分	事業名	実施時期	事業の概要
公1 -4)	ソーシャル・ヒトワクの放送	月1~2本 再放送あり (4本)	NPOの活動紹介と、NPOの活動を紹介するトーク番組をタイフーンfm (78.0MHz)で放送した。  NPOヒトワク- 放送回数12回 (2010年度からの通算213回)
公1 -5)	みらいファンドニュースの発行	月1回程度 臨時号あり	メール、Facebookなど即時性を活かした情報発信を行う。助成やイベント等の情報を発信し、NPOのみならず社会貢献に関心のある方へ情報を提供し、参加機会の提供を行った。
公1 -5)	季刊広報誌の発行		改訂版円卓マニュアルを発行し、販売を行った

## 公2 資金循環事業

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、社会状況が大きく変化した。課題解決に取り組むNPOも新規ニーズが生まれ、既存ニーズの拡大、事業モデルの転換など、大きな変化を迫られた。そのような状況に対して、休眠預金交付金事業の新型コロナウイルス対応緊急支援助成を申請し『コロナ禍で孤立したNPOとその先の支援』事業を採択いただき、県内の課題解決に取り組む団体に、助成総額：21,600,000円の助成事業を実施。6団体に助成を行った。今後、新型コロナウイルスの状況に応じて、助成支援メニューなどの検討が必要と考える。

「寄付と助成のプログラム」では、カスタマイズの間い合わせが増え、新規に5基金立ち上がった。成果の基金プログラムにするには伴走支援が求められる。第12期が寄付募集活動支援期間が終了し、第13期は、2事業が採択され寄付募集を行っている。

じぶん基金は、中野五海篠木あつ子基金ができ、人生の最後により基金プログラムが求められている。基金数が、年々増えていくことから、基金運営については、いっそうの効率化と基金目的を達成するための運営が求められる。

「地域円卓会議」は、コロナ禍で対面で集まることが難しいなか、オンライン型の円卓会議を開発を行った。、コロナ禍で課題が山積する中、議論を止めることなく、課題を議論し共有できる場を社会に提供することができた。

区分	事業名	実施時期等	事業の概要
公2 - (1)	テーマ型基金 C001 世界若者ウチナンチュ大会支援基金	2012年6月設置	今年度は特に活動なし。基金の今後の展開については、今後も継続することが確認された。
公2 - (1)	テーマ型基金 C002 沖縄まちと子ども基金	2012年12月設置	2020年度は未実施
公2 - (1)	テーマ型基金 新規 C003 沖縄・離島の子ども派遣基金	2020年度設置	<p>沖縄・離島の子ども派遣基金事業の実施にともない基金設置。</p> <p>沖縄電力のmoreEと協定</p>  <p>7月7日 記者会見</p>



区分	事業名	実施時期等	事業の概要
公2 -2)	寄付と助成のプログラム 第12期たくす	寄付募集支援期間 2019年9月～2020年8 月	期間 2019年9月～2020年8月 採択団体：2団体 ・NPO乳がん患者の会 ぴんく・ぱんさー ・NPO法人 沖縄青少年自立援助センター ちゅらゆい
公2 -2)	寄付と助成のプログラム 第13期たくす	寄付募集支援期間 20年9月～2020年8月	募集期間：2020年7月20日～8月17日  選考会： 日時：2020年8月28日（金）18:30～19:30 場所：みらいファンド沖縄事務所及びオンライン会議システムZOOM  採択団体：2団体 ・NPO乳がん患者の会 ぴんく・ぱんさー ・一般社団法人 沖縄県女性の翼  寄付募集目標総額 2,380,000円

## 公2 資金循環事業

区分	事業名	実施時期等	事業の概要		
公2 -2)	寄付と助成のプログラム たくす カスタマイズ	寄付募集支援期間			
	基金名	助成先	2020年度寄 付額	基金総額	所感
Pc002	こどもシェルター	一般社団法人長生楽	¥ 0	¥ 1,160,000	2018年度設置 助成実施
Pc003	首里城アーカイブ基金	沖縄デジタルアーカイ ブ協議会	¥ 45,170	¥ 831,973	2019年度設置
pc004	日本こどもみらい支援機構 を支援する会	日本こどもみらい支援 機構	¥ 3,000	¥ 149,000	2019年度設置・終結 助成実施
Pc005 なわ基金	多文化ネットワークfuふ！おき	多文化ネットワークfu ふ！おきなわ	¥ 1,050,000	¥ 1,050,000	2020年度設置・新規 助成実施
PC006	Ok! Hands Ok! Hearts ド ネーションショップ基金	Ok! Hands Ok! Hearts	¥ 50,000	¥ 50,000	2020年度設置・新規
Pc007	まちなか留学HelloWorld	HelloWorld 株式会社	¥ 150,000	¥ 150,000	2020年度設置・新規
Pc008	ミマモライド基金	合同会社トキニライド	¥ 0	¥ 0	2020年度設置・新規
Pc009	宮城已知子ピースフィルムラ イブラリー基金		¥ 50,000	¥ 50,000	2020年度設置・新規

区分	事業名	実施時期等	事業の概要
公2 -3)	じぶん基金（個人創案型基金） J003 宮里大八国際交流基金	2015年設置	コロナウイルス感染拡大防止の観点から、今回は公募は行わなかった
公2 -3)	じぶん基金（個人創案型基金） J004 新崎盛暉平和活動奨励基金	2017年1月設置  寄付募集支援期間 2020年4月～	<p>沖縄の歴史を踏まえ、沖縄の平和と人権を守り、沖縄を世界の平和の拠点とする市民の創造的実践活動、研究活動を助成することを目的として、この基金を設置します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・（第4期）募集期間：2020年4月13日（月）～5月29日（金）</li> <li>・選考会：日時：2020年6月24日（月）18:30～20:30 場所：みらいファンド沖縄事務所</li> <li>・助成金額：31万円 地域住民が主体となった戦争体験者の聞き取り、次世代へ継承する活動生活協同組合コープおきなわ</li> <li>・報告会は、コロナウイルス感染拡大防止の観点から実施を見送った</li> </ul>
公2 -3)	じぶん基金（個人創案型基金） J005 琉球宇温基金	2019年設置	<p>志半ばで亡くなった宇温が参画していた活動をサポートし、課題の解決に貢献すると共に彼の遺志を引き継ぎ、彼の「幸せをつなぐ」という志を引き継ぎたい家族と有志が集まり、この基金を設立。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運営委員会：日時：2020年9月26日（土）10:00～12:00 場所：オンライン会議システム（ZOOM）</li> <li>・助成金額：30万円×2件 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 特定非営利活動法人アメラジアンスクール・イン・オキナワ</li> <li>2. 一般社団法人 大学コンソーシアム沖縄</li> </ol> </li> </ul>

区分	事業名	実施時期等	事業の概要
公2 -3)	<p>じぶん基金（個人創案型基金） J006 中野五海篠木あつ子基金</p>  <p>贈呈式 中野さん、篠木さんと 採択者の秋山さん</p>	2020年4月設置	<p>助成目的： 国民国家の枠組みに囚われない平和意識の覚醒・構築（パラダイムチェンジ）を 指向する研究。若手及び民間研究者の研究活動を助成し、その成果を社会に還元 すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選考会：日時：2020年4月24日（月）14:00～15:00 場所：みらいファンド沖縄事務所</li> <li>・助成金：各30万円 秋山道宏（沖縄国際大学 准教授） 研究分野：社会学、沖縄戦後史、平和研究</li> </ul> <p>上原こずえ（東京外国語大学世界言語社会教育センター特任講師） 『共同の力 1970～80年代の金武湾闘争とその生存思想』</p>



区分	事業名	実施時期	概要と事務局所感
公2 -(1~3)	以上の基金・プログラムのファンドレイジング等の支援に関する業務	1月	遺贈寄付勉強会の実施 参加団体 みらいファンド沖縄、シナジープラス、TAパートナーズなど
公2 -(5)	地域づくりのための 助成事業活用シンポジウム	3月	<p>助成団体ネットワークオンラインセミナー 「コロナ禍で変化した地域自治のこれから」</p> <p>日 時：2021年3月12日（金）13:30～16:00 開催方法：オンライン会議システム（Zoom）を使用して実施 参加者：33名 進行：平良斗星（（公財）みらいファンド沖縄） 第1部 基調講演：IIHOE 代表 川北 秀人 第2部 テーブル着席者 （公社）沖縄県地域振興協会 専務理事 玉那覇 靖 （公財）みらいファンド沖縄 代表理事 小阪 亘</p> <p>■主 催 地域づくりのための助成事業活用シンポジウム実行委員会 ■構成団体 沖縄県地域づくりネットワーク、おきなわアジェンダ21 県民会議、沖縄県企画部、（公社）沖縄県地域振興協会、社会福祉法人 沖縄県共同募金会、社会福祉法人沖縄県社会福祉協議会、（公財）沖縄 県文化振興会、沖縄銀行、琉球銀行、沖縄ろうきん、コープ沖縄、沖縄 子どもの未来県民会議、琉球新報、（公財）みらいファンド沖縄</p>

\* 公2-(4)キャンペーン型基金については当年度は実施していない

区分	事業名	実施時期	概要と事務局所感
公2 -5)	休眠預金交付金事業 沖縄・離島の子ども派遣基金事業	2019年12月～ 2023年3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実行団体（2020年度助成額：21,110,000円） 一般社団法人沖縄県サッカー協会 NPO法人豊見城市体育協会 株式会社ハブクリエイティブ（石垣）</li> <li>・集合研修の開催 5月26日（火）13時30分～17時</li> <li>・円卓会議1回10/10 沖縄県サッカー協会</li> <li>・円卓会議2回11/6 豊見城市体育協会</li> <li>・円卓会議3回1/30 評価</li> <li>・集合研修の開催 3月4日（木）13時～17時30分</li> </ul> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から部活動の大会が中止になるケースが多く、派遣事業も中止になり、事業実施が困難だった</p>
公2 -5)	休眠預金交付金事業 新型コロナウイルス対応緊急支援助成 『コロナ禍で孤立したNPOとその先の支援』事業	2020年8月～ 2021年6月	<p>事業総額：28,243,000円 助成総額：21,600,000円 実行団体一覧</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.特定非営利活動法人1万人井戸端会議（助成金額：3,497,350円） 課題の見える化と行動できるコミュニティへ</li> <li>2.特定非営利活動法人沖縄NGOセンター（助成金額：3,596,520円） 多文化共生セーフティネットワークの構築</li> <li>3.NPO法人沖縄県学童・保育支援センター（助成金額：3,600,000円） コロナ禍だからこそ繋がろう！</li> <li>4.一般社団法人おきなわジュニア科学クラブ（助成金額：3,006,377円） 子どもの居場所×フードパントリー</li> <li>5.特定非営利活動法人沖縄青少年自立援助センターちゅらゆい（助成金額：3,575,326円） アンダーコロナに対応するICT整備事業</li> <li>6.一般社団法人琉球フィルハーモニック（助成金額：3,600,000円） 音楽による子どもの居場所づくり：ジュニアジャズオーケストラ活動</li> </ol>

\* 公2-(4)キャンペーン型基金については当年度は実施していない

## 公2 資金循環事業

区分	事業名	実施時期等	事業の概要
公2 -6)	地域円卓会議の開催・支援	通年	地域の社会的課題の解決のための対話の場である「地域円卓会議」の開催・支援を行った。 地域円卓会議：11回 参加人数：約249名（昨年度490名 昨年比-241）
日付	内容	主催	参加人数
1	9/9（水） コロナ禍の外国人留学生地域円卓会議、オンライン2日型	みらいファンド沖縄	46名
2	10/11（日） 沖縄科学系人材育成円卓会議、オンライン2日型（派遣）	子供科学技術人材育成事業事務局	11名
3	10/10（土） 部活動派遣費問題を考える円卓会議（サッカー協会）、オンライン2日型	沖縄県サッカー協会 みらいファンド沖縄	5名
4	10/26（月） 沖縄市うるま市連携の歴史文化体験施設周遊事業地域円卓会議	沖縄市、 うるま市	8名
5	10/27（火） Withコロナ時代の新しいまちづくりを考える地域円卓会議、オンライン+リアル2日型	なは市民協議会	約28名
6	11/6（金） 部活動派遣費問題を考える円卓会議in豊見城、オンライン2日型	豊見城市体育協会 みらいファンド沖縄	5名
7	11/21（土） コロナ禍で生まれたまちづくりを考える地域円卓会議、リアル1日型	那覇市	20名
8	1/7（木） スクールロイヤーを子どもの視点から考える地域円卓会議、オンライン1日型	（一財）鎌倉フェローシップ	21名
9	1/30（土） 部活動派遣費問題を考える地域円卓会議、オンライン1日型	みらいファンド沖縄	54名
10	2/16（火） ちゅらゆい社内地域円卓会議、オンライン1日型（派遣）	沖縄県自立支援センターちゅらゆい	32名
11	3/24（水） コロナ禍の子ども支援者地域円卓会議、オンライン1日型	みらいファンド沖縄	19名

区分	事業名	実施時期	概要と事務局所感
公2 -(6)	コレクティブインパクト事業	通年	<p>沖縄における重要課題において、コレクティブインパクトで社会課題解決を行う事業に取り組む</p> <p>①沖縄県認知症高齢者見守り推進事業 ②子どもの貧困問題の解決</p>
公2 -(6)	寄付月間2020	12月	<p>寄付月間パネル展の実施 期間：2020年12月16日～2021年1月4日 場所：沖縄県立図書館3階展示コーナー 共催：沖縄県、琉球大学、みらいファンド沖縄</p> <p>内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・寄付月間2020について</li> <li>・参加団体パネル（活動の紹介） 公益財団法人みらいファンド沖縄 琉球大学基金室</li> </ul>
公2 -(6)	各種勉強会の開催	随時	特になし

## 法人運営

新たに休眠預金交付金事業が実施したことから、より高いガバナンス・コンプライアンスが求められている。規定類を新たに追加、理事会にコンプライアンス委員会を新設し、内部通報窓口の設置もおこなうなど、ガバナンス・コンプライアンスの強化を図った。

区分	事業名	実施時期	概要と事務局所感
法人	評議員会の開催	6月	第1回 定期評議委員会 日時：2020年6月18日（木）10:00～11:30 場所：みらいファンド沖縄 事務所 議事：第1号議案 2019年度事業報告及び決算の承認の件 第2号議案 任期満了に伴う理事改選の件
法人	監事監査	5月	日時：2020年5月15日（金）10:30～12:00 場所：みらいファンド沖縄 事務所 監事：名城佳枝 山崎新
法人	理事会の開催	通年	第1回 2020年6月2日（火）10:00～12:00 前年度事業報告の承認など 第2回 2020年6月18日（木）決議の省略 代表理事の選任 第3回 2020年7月31日（金）10:00～12:00 新型コロナ対策 新事業実施、 新規職員の採用について 第4回 2020年12月16日（水）13:30～15:30 部活派遣基金の寄付募集目論見書の件など 第5回 2021年2月18日（木）10:00～12:00 法人運営状況報告 第6回 2021年3月25日（木）10:00～12:00 2020年度決算状況、2021年度事業計画など 場所：みらいファンド沖縄 事務所
法人	コンプライアンス委員会の開催	9月 3月	第1回 2020年9月25日（金）10:00～11:30 第2回 2021年3月19日（金）10:30～12:00 場所：みらいファンド沖縄 事務所 委員：
法人	事務局体制	随時	定例会 毎週木曜日1 常務理事3名にて実施 会計業務：大城祝理工務所に委託 月次報告 緊急事態宣言中は在宅勤務でも可能とした



# 役員一覧

評議員（任期（4年）：2018年6月3日～2022年評議員会まで）

役職	氏名	所属
評議員	イナガキ ジュンイチ 稲垣 純一	沖縄電子ビジネス専門学校 理事
評議員	マキヤ ミツコ 真喜屋 光子	有限会社センチュリー経営企画（マキの靴）代表取締役
評議員	ノハ マサヒロ 饒波 正博	沖縄赤十字病院勤務 なは市民協議会
評議員	イトカズ ミキ 糸数 未希	NPO法人にじのはしファンド代表
評議員	モトムラ マコト 本村 真	琉球大学キャリア教育センター センター長・人文社会学部教授
評議員	ツヅキ ヨウコ 續 洋子	NPO法人1万人井戸端会議 副代表/事務局長

理事（任期（2年）：2020年6月18日～2022年評議員会まで）

役職	氏名	所属
理事 代表理事	ゴサカ ワタル 小阪 亘	特定非営利活動法人まちなか研究所わくわく 代表理事
理事 副代表理事	タイラ トウセイ 平良 斗星	株式会社エフエム那覇 会長
理事	オナガ コウキ 翁長 有希	一般社団法人沖縄県キャリア支援・教育連携協議会 理事 一般社団法人be.らぼらとり 代表理事
理事	テルキナ トオル 照喜名 通	沖縄県難病相談支援センター 認定NPO法人 アンビシャス 副理事長
理事	チネン タダヒコ 知念 忠彦	医療法人天仁会 天久ヒルトップ 施設長

監事（任期（4年）：2018年6月22日～2022年評議員会まで）

役職	氏名	所属
監事	ナシロ ヨシエ 名城 佳枝	大学非常勤講師、ファイナンシャルプランナー、沖縄県金融広報アドバイザー
監事	ヤマザキ アラタ 山崎 新	株式会社おきなわedu 取締役

# 組織概要

名称	 公益財団法人 みらいファンド沖縄
英名	Mirai Fund Okinawa Inc. Foundation
設立年月日	2010年4月23日
公益認定日	2011年4月1日
事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
代表理事	小阪 亘
設立経緯	財団設立供出金300万円を 93名の市民から寄付を頂いて 設立
住所	〒903-0824 沖縄県那覇市首里池端町34 2Fタイフーンfm内
加盟団体	一般社団法人全国コミュニティ財団協会 一般社団法人全国レガシーギフト協会

みらいファンド沖縄は、市民のみなさまからの寄付により、設立した「市民立」の財団です。

沖縄の公益活動団体を意志ある人々によって支え合う——みらいファンド沖縄の設立趣意に共感し、設立時拠出金をご寄付くださいましたみなさまに、感謝申し上げます。



## 設立時拠出金に寄付くださったみなさま

(五十音順・敬称略)

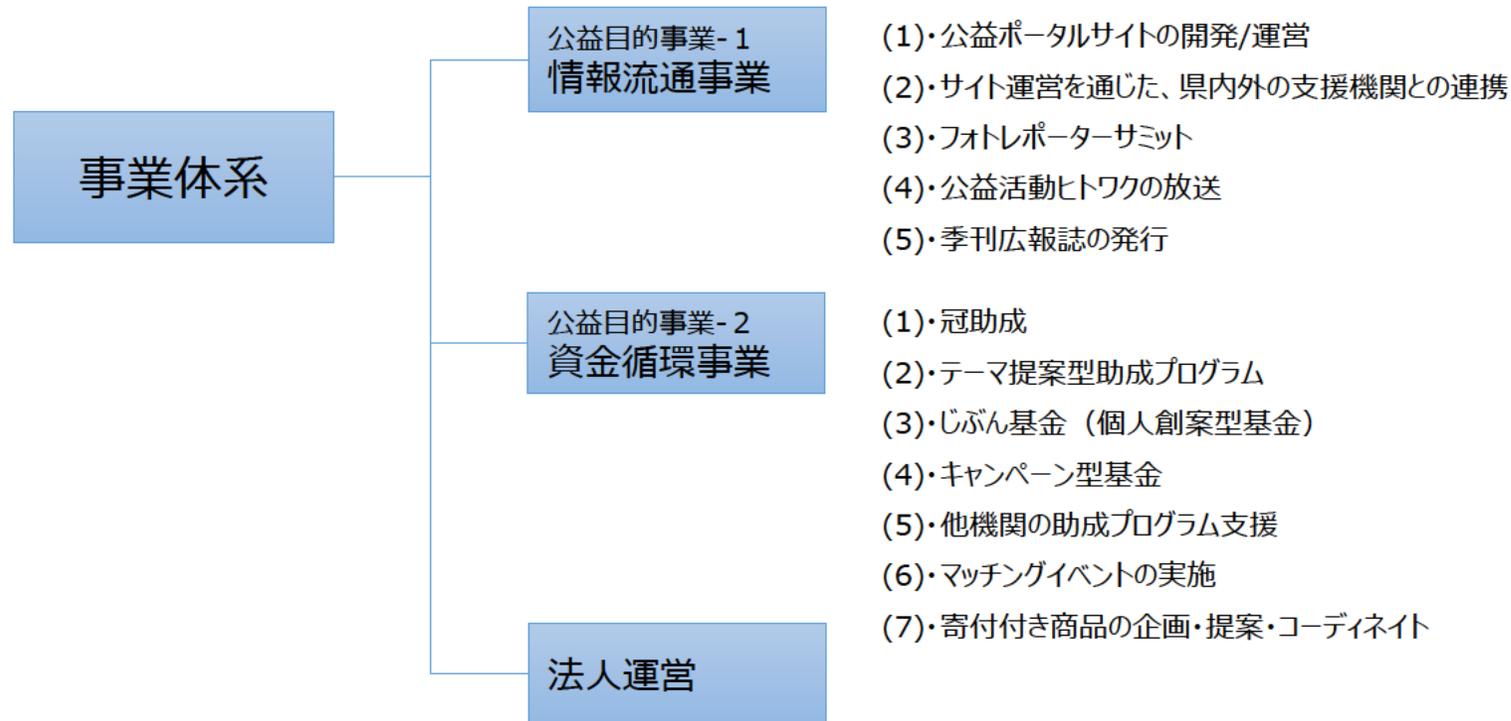
秋葉 武 新井 裕子 新垣 八重子 (有)新垣ちんすこう菓子店  
有井 安仁 東濱 克紀 認定NPO 法人アンビシャス  
石原 達也 今津 新之助 岩田 直子 (株)エフエム那覇  
(株)エフエム21 遠藤 聡志 大城 逸子 大城 喜江子  
大城 幸代 大城 成信 大城 武久 大見謝 恒章  
NPO 沖縄シニアの会 川北 秀人 菊之露酒造(株) 金城 嘉志  
金城 和光 (株)クレイ沖縄 古我知 浩 小阪 亘 小橋川 繁  
小松 かおり 呉屋 貴司 佐久間 愛弓 下地 美香  
(特活) 首里まちづくり研究会 佐脇 広平 新開 育恵  
新星出版(株) 杉浦 幹男 関口 宏聡  
税理士法人添石総合会計事務所 添石 幸伸  
(特活) ソーシャル・デザイン・ファンド 平良 斗星 平良 恵津子  
地域情報エージェント(株) 知花 茂 知念 金徳  
(特活) ちゅらしまフォトミュージアム 當間 愛晃 戸田 幸典  
渡真利 雅男 仲村 一真 中村 聡 (特活) 日中文化交流センター  
比嘉 司 平井 雅 福岡 智子 前田 比呂也 真喜屋 光子  
(特活) まちなか研究所わくわく 松本 哲治 宮里 大八  
宮道 喜一 宮島 さおり 米野 史健 山城 岩夫 山城 司  
与儀 隆一 與古田 清順 (特活) ライフサポートてだこ  
(有) ルーツ 若尾 貴広 若尾 美希子 渡邊 真寿美  
匿名にて寄付くださった方々

(合計 93名、300万円)

当財団は、市民コミュニティ財団として公益法人格を有して、以下の公益目的事業を実施する。

コミュニティ財団とは、地域の人々によって設立され、地域のために活動する慈善事業組織です。この組織は、地域からの寄付によって成り立ち、市民によって構成される理事会によって運営され、地域社会のより良い暮らしのために活動しています。資金源は多種多様であり、地域社会の長期的な生活の質の向上のために活用されています。これらの資金は地域社会の代表の選択により各種組織・目的に向けて配分されます。

(全国コミュニティ財団協会資料より抜粋)



# 受入れ寄付額と助成の実績 (2010-2020)

		受入寄付 年度達成額	受入寄付 累積達成額	助成金交付 年度実施額	備考
2010 (第1期)	立上期 財団機能 基盤構築	9,197,780円	9,197,780円	5,755,250円	・受入寄付額には拠出金を含む ・震災関連寄付を含む
2011 (第2期)		3,824,684円	13,022,838円	2,427,218円	・受入寄付額にはみらいファンド 沖縄への寄付を含む ・震災関連寄付を含む
2012 (第3期)		5,170,037円	18,194,341円	3,709,315円	・受入寄付額にはみらいファンド 沖縄への寄付を含む
2013 (第4期)	助成プログラ ム・円卓会議 の確立	4,920,777円	23,115,118円	2,383,834円	・受入寄付額にはみらいファンド 沖縄への寄付を含む
2014 (第5期)		2,760,362円	25,875,480円	2,549,919円	・受入寄付額にはみらいファンド 沖縄への寄付を含む
2015 (第6期)		12,718,093円	38,593,573円	1,745,517円	・受入寄付額にはみらいファンド 沖縄への寄付を含む
2016 (第7期)	FR機能の 強化・確立	29,679,412円	68,272,985円	1,325,250円	・受入寄付額にはみらいファンド 沖縄への寄付を含む
2017 (第8期)		19,839,830円	87,839,405円	3,287,547円	・受入寄付額にはみらいファンド 沖縄への寄付を含む
2018 (第9期)		30,349,469円	118,188,874円	70,000,454円	・受入寄付額にはみらいファ ンド沖縄への寄付を含む
2019 (第10期)		6,560,495円	124,786,729円	4,342,750円	・受入寄付額にはみらいファ ンド沖縄への寄付を含む
2020 (第11期)		7,394,952円	132,181,681円	44,208,552円	休眠預金事業の部活派遣事業 とコロナ支援事業の助成金の 内訳が39,888,015円

## 略年表 (2009-2013)

年度	みらいファンド沖縄の主なできごと	社会の主なできごと
2009 H21	<ul style="list-style-type: none"> <li>•キックオフフォーラム</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>•衆議院選挙で民主党圧勝</li> <li>•裁判員制度施行</li> </ul>
2010 H22	<ul style="list-style-type: none"> <li>•法人設立</li> <li>•那覇市「地域づくり・公益活動支援事業」受託（緊急雇用事業）</li> <li>•「じぶん基金」プログラム2基金スタート</li> <li>•沖縄NPOデータベース公開</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>•普天間基地の辺野古移転が白紙に</li> <li>•沖縄県民税の寄附金控除対象法人が拡大</li> <li>•「新しい公共」円卓会議</li> <li>•11月 仲井眞知事 再選</li> <li>•12月 ISO26000発効</li> <li>•3/11 東日本大震災</li> </ul>
2011 H23	<ul style="list-style-type: none"> <li>•公益財団法人化</li> <li>•「寄付と助成のプログラム」スタート</li> <li>•H23「沖縄県新しい公共支援事業」受託</li> <li>•クレジットカードにて寄付決済サービス開始</li> <li>•PSTをクリアし、税額控除認定を受ける</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>•6月 新しい市民公益税制が成立</li> <li>•6月 改正NPO法が成立</li> <li>•7月 なでしこジャパン FIFA杯優勝</li> <li>•10月 世界のウチナーンチュ大会</li> </ul>
2012 H24	<ul style="list-style-type: none"> <li>•H24沖縄県「新しい公共支援事業」受託</li> <li>•「世界若者ウチナーンチュ大会支援基金」設置</li> <li>•カンパイチャリティを開催</li> <li>•「沖縄まちと子ども基金」設置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>•4月 新認定NPO法人制度スタート</li> <li>•5月 沖縄の本土復帰40周年</li> <li>•8月 ロンドンオリンピック</li> <li>•11月 那覇市長に翁長氏が4選</li> <li>•12月 衆議院選挙で自民党圧勝</li> <li>•2月 浦添市にNPO出身の市長が誕生</li> </ul>
2013 H25	<ul style="list-style-type: none"> <li>•4月 事務局をタイフーンfm内に移転</li> <li>•6月 国交省 事業受託</li> <li>•7月 累積寄付受入額 2000万円を突破</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>•4月 インターネット選挙解禁</li> <li>•6月 富士山が世界遺産に</li> <li>•11月 旧民法法人の移行特措期間終了</li> </ul>

# 略年表 (2014-2016)

年度	みらいファンド沖縄の主なできごと	社会の主なできごと
2014 H26	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6月「寄付と助成のプログラム」を再編し公募開始</li> <li>・6月一般社団法人全国コミュニティ財団協会設立、設立時九州ブロック理事として参画</li> <li>・3月全国コミュニティ財団協会海外招聘事業フォーラム・研修「米国のコミュニティ財団100年の歴史に学ぶ」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月 消費税増税（8%に）</li> <li>・5月 日本創生会議が自治体の896が消滅の危機にあると発表。地方消滅（通称増田レポートの発表）</li> <li>・9月 第2次阿部内閣にて、地方創生担当大臣に石破茂とまち・ひと・しごと創生本部を設置。</li> <li>・9月 FIFAワールドカップ ブラジル大会</li> <li>・12月 沖縄県知事に翁長雄志氏が当選</li> <li>・2月 介護保険制度の改正（要支援1，2が予防給付の対象除外に）</li> </ul>
2015 H27	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10月 じぶん基金 宮里大八国際交流基金を設置</li> <li>・12月 寄付月間、全国規模の寄付推進の取り組み、寄付月間推進委員として、沖縄で寄付推進に取り組む</li> <li>・1月 遺贈寄付 第1号を受け入れる</li> <li>・2月8日 みらいファンド沖縄5周年記念イベント ドネーションパーティ&amp;サンクスデー</li> <li>・琉球大学、名城大学とCOC+円卓会議開催（県内5カ所）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普天間基地の辺野古移転が白紙に</li> <li>・沖縄県民税の寄附金控除対象法人が拡大</li> <li>・「戦後70年談話」</li> <li>・9月10日 関東・東北豪雨 鬼怒川氾濫</li> <li>・9月19日 参院本会議で“安保法”可決</li> <li>・11月13日 「パリ同時多発テロ」発生</li> <li>・12月 寄付月間が、寄付を推進する全国的な取り組みが初めておこなれた。</li> <li>・2月 国勢調査で初めて人口減少 1920年の調査開始以来初めて。</li> </ul>
2016 H28	<ul style="list-style-type: none"> <li>・7月 沖縄県が、県内の深刻な子どもの貧困の解決に向けて 沖縄子ども未来県民会議を設置 事業部会の委員として参画</li> <li>・11月 マニフェスト大賞 優秀賞 受賞</li> <li>・11月 全国レガシーギフト協会 設立総会（みらいファンド沖縄加盟）</li> <li>・税額控除認定 更新</li> <li>・1月 新崎盛暉平和活動奨励基金 を設置</li> <li>・累積寄付受入額 5000万円を突破</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1月 日銀がマイナス金利政策を導入したことにより、 長期金利が過去最低を更新</li> <li>・4月14日、16日 熊本地震、初めて震度7が2回観測</li> <li>・5月 伊勢志摩サミット オバマ米大統領が広島訪問</li> <li>・12月2日 休眠預金活用法成立</li> <li>・1月 ドナルド・トランプの第45代アメリカ合衆国大統領就任</li> </ul>

# 略年表 (2017-2020)

年度	みらいファンド沖縄の主なできごと	社会の主なできごと
2017 H29	<ul style="list-style-type: none"> <li>11月 助成財団シンポジウム（助成財団センター）と実施</li> <li>1月 沖縄県で初めて遺贈寄付研修をNPO向け、土業向けに実施</li> <li>3月 沖縄県が寄付月間2017で賛同パートナー特別賞を受賞</li> <li>3月 1年間で16回の円卓会議を開催（過去で最高件数）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1月 トランプ大統領就任、米国第一主義を掲げる</li> <li>3月 特定非営利活動促進法 成立20周年</li> <li>7月 都議選で都民ファーストの会が躍進</li> <li>9月 桐生 9秒98 日本人初の10秒台突破</li> <li>10月 第48回衆議院選挙 自民党が3分の2議席</li> </ul>
2018 H30	<ul style="list-style-type: none"> <li>6月 評議員、理事、監事改選</li> <li>5月 寄付受入金額1億円突破</li> <li>12月 みらいファンド沖縄活動報告書2010-2018発行</li> <li>3月 沖縄式地域円卓マニュアル作成費のためのクラウドファンディング実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1月 仮想通貨流出、交換業者に改善命令</li> <li>5月 将棋・藤井聡太、最年少で七段に</li> <li>8月 翁長沖縄県知事死去</li> <li>9月 玉城沖縄県知事就任</li> <li>11月 2025年大阪万博開催決定</li> </ul>
2019 H31 R1	<ul style="list-style-type: none"> <li>7月 うむさんラボと協定を結びうむさん基金を設置</li> <li>11月 休眠預金交付金事業「沖縄子どもの派遣基金事業」事業スタート</li> <li>3月 理事会にコンプライアンス委員会を設置。第1回開催</li> <li>3月 内部通報窓口の設置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1月 休眠預金-指定活用団体の決定</li> <li>1月 休眠預金の発生</li> <li>5月 新元号 令和</li> <li>9月 台風・豪雨災害（台風15号、19号）</li> <li>9月 ラグビーワールドカップが日本にて開催</li> <li>10月 消費税10%に引き上げ</li> <li>10月 首里城火災 正殿など焼失</li> <li>11月 中国武漢にて新型コロナウイルス発生</li> </ul>
2020 R2	<ul style="list-style-type: none"> <li>4月 「新型コロナウイルス感染拡大への対応及び支援に関するNPO法人等緊急アンケート」をおきなわ市民活動支援会議で実施（4月6日～4月20日）</li> <li>4月 那覇市長に要望書を手交</li> <li>8月 休眠預金活用事業-新型コロナウイルス対応緊急支援助成『コロナ禍で孤立したNPOとその先の支援』事業 採択</li> <li>9月 初めてオンラインで地域円卓会議を開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3月 3日 政府要請により小中学校臨時休校（3/16 再開）</li> <li>3月 24日 東京五輪、令和3年に延期決定</li> <li>4月 7日 政府が7都道府県に緊急事態宣言を发出（4/16に全国に拡大） 日本政府が国民一律10万円の特別定額給付金と布マスクの支給を決定</li> <li>7月 コンビニやスーパーでのレジ袋が有料化</li> <li>8月 安倍晋三総理が病気の悪化により辞任を表明</li> <li>9月 菅義偉さんが第99代総理大臣に選出</li> <li>12月 日本の宇宙探査船「はやぶさ2」が小惑星リュウグウの試料を地球に持ち帰る。</li> </ul>

## 貸借対照表

平成 31年 3月 31日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	1,082,728	2,904,106	△ 1,821,378
未収金	3,886,041	1,415,173	2,470,868
流動資産合計	4,968,769	4,319,279	649,490
2. 固定資産			
(1)基本財産			
預金(基)	3,060,040	3,060,011	29
基本財産合計	3,060,040	3,060,011	29
(2)特定資産			
資金循環事業基金	6,717,810	50,561,273	△ 43,843,463
特定資産合計	6,717,810	50,561,273	△ 43,843,463
(3)その他固定資産			
その他固定資産合計	0	0	0
固定資産合計	9,777,850	53,621,284	△ 43,843,434
資産合計	14,746,619	57,940,563	△ 43,193,944
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	2,688,974	2,068,724	620,250
預り金	22,181	11,831	10,350
流動負債合計	2,711,155	2,080,555	630,600
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	2,711,155	2,080,555	630,600
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	6,717,810	50,561,273	△ 43,843,463
指定正味財産合計	6,717,810	50,561,273	△ 43,843,463
2. 一般正味財産	5,317,654	5,298,735	18,919
正味財産合計	12,035,464	55,860,008	△ 43,824,544
負債及び正味財産合計	14,746,619	57,940,563	△ 43,193,944

## 貸借対照表内訳表

平成 31年 3月 31日 現在

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合計
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	499,643	583,085	1,082,728
未収金	3,886,041	0	3,886,041
流動資産合計	4,385,684	583,085	4,968,769
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
預金(基)	3,060,040	0	3,060,040
基本財産合計	3,060,040	0	3,060,040
(2) 特定資産			
資金循環事業基金	6,717,810	0	6,717,810
特定資産合計	6,717,810	0	6,717,810
(3) その他固定資産			
その他固定資産合計	0	0	0
固定資産合計	9,777,850	0	9,777,850
資産合計	14,163,534	583,085	14,746,619
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金	2,574,516	114,458	2,688,974
預り金	5,513	16,668	22,181
流動負債合計	2,580,029	131,126	2,711,155
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	2,580,029	131,126	2,711,155
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産			
寄付金	6,717,810	0	6,717,810
指定正味財産合計	6,717,810	0	6,717,810
2. 一般正味財産			
正味財産合計	4,865,695	451,959	5,317,654
負債及び正味財産合計	11,583,505	451,959	12,035,464
負債及び正味財産合計	14,163,534	583,085	14,746,619

## 正味財産増減計算書

平成 30年 4月 1日 から平成 31年 3月 31日 まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
事業収益			
自主事業	495,800	139,640	356,160
委託事業	4,074,577	5,961,000	△ 1,886,423
事業収益計	4,570,377	6,100,640	△ 1,530,263
受取寄付金			
受取寄付金	0	2,702,580	△ 2,702,580
受取寄付金振替額	74,192,932	3,306,838	70,886,094
受取寄付金計	74,192,932	6,009,418	68,183,514
雑収益			
受取利息	212	425	△ 213
雑収益	0	114,300	△ 114,300
雑収益計	212	114,725	△ 114,513
経常収益計	78,763,521	12,224,783	66,538,738
(2) 経常費用			
事業費			
役員報酬	1,904,000	480,000	1,424,000
福利厚生費	6,133	0	6,133
旅費交通費	174,806	413,034	△ 238,228
通信運搬費	69,525	15,582	53,943
消耗品費	87,519	38,543	48,976
印刷製本費	99,353	22,495	76,858
賃借料	270,000	315,000	△ 45,000
諸謝金	85,000	150,000	△ 65,000
租税公課	1,000	1,000	0
支払負担金	50,000	120,000	△ 70,000
支払助成金	70,250,454	3,287,547	66,962,907
委託費	0	1,827,344	△ 1,827,344
外注工賃	3,669,377	2,562,855	1,106,522
雑費	226,755	204,699	22,056
事業費計	76,893,922	9,438,099	67,455,823
管理費			
役員報酬	476,000	120,000	356,000
給料手当	561,600	180,300	381,300
福利厚生費	2,744	0	2,744
交際費	8,000	6,000	2,000
通信運搬費	1,879	1,353	526
消耗品費	12,007	8,600	3,407
賃借料	90,000	105,000	△ 15,000
諸謝金	554,736	481,296	73,440
租税公課	2,050	0	2,050
雑費	141,664	176,100	△ 34,436
管理費計	1,850,680	1,078,649	772,031
経常費用計	78,744,602	10,516,748	68,227,854
評価損益等調整前当期経常増減額	18,919	1,708,035	△ 1,689,116
当期経常増減額	18,919	1,708,035	△ 1,689,116
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	18,919	1,708,035	△ 1,689,116
当期一般正味財産増減額	18,919	1,708,035	△ 1,689,116
一般正味財産期首残高	5,298,735	3,590,700	1,708,035
一般正味財産期末残高	5,317,654	5,298,735	18,919
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金			
受取寄付金	30,349,469	17,137,250	13,212,219
一般正味財産への振替額			
一般正味財産への振替額	74,192,932	3,306,838	70,886,094
当期指定正味財産増減額	△ 43,843,463	13,830,412	△ 57,673,875
指定正味財産期首残高	50,561,273	36,730,861	13,830,412
指定正味財産期末残高	6,717,810	50,561,273	△ 43,843,463
III 正味財産期末残高	12,035,464	55,860,008	△ 43,824,544

## 正味財産増減計算書内訳表

平成 30年 4月 1日 から平成 31年 3月 31日 まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計				法人会計	合計
	情報流通	資金循環	共通	小計		
I 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
事業収益						
自主事業	12,000	483,800	0	495,800	0	495,800
委託事業	0	4,074,577	0	4,074,577	0	4,074,577
事業収益計	12,000	4,558,377	0	4,570,377	0	4,570,377
受取寄付金						
受取寄付金振替額	0	72,342,252	0	72,342,252	1,850,680	74,192,932
雑収益						
受取利息	0	183	29	212	0	212
経常収益計	12,000	76,900,812	29	76,912,841	1,850,680	78,763,521
(2) 経常費用						
事業費						
役員報酬	238,000	1,666,000	0	1,904,000	0	1,904,000
福利厚生費	1,635	4,498	0	6,133	0	6,133
旅費交通費	117,900	56,906	0	174,806	0	174,806
通信運搬費	0	69,525	0	69,525	0	69,525
消耗品費	0	87,519	0	87,519	0	87,519
印刷製本費	0	99,353	0	99,353	0	99,353
貸借料	14,400	255,600	0	270,000	0	270,000
諸謝金	0	85,000	0	85,000	0	85,000
租税公課	0	1,000	0	1,000	0	1,000
支払負担金	50,000	0	0	50,000	0	50,000
支払助成金	0	70,250,454	0	70,250,454	0	70,250,454
外注工賃	0	3,669,377	0	3,669,377	0	3,669,377
雑費	10,648	216,107	0	226,755	0	226,755
事業費計	432,583	76,461,339	0	76,893,922	0	76,893,922
管理費						
役員報酬	0	0	0	0	476,000	476,000
給料手当	0	0	0	0	561,600	561,600
福利厚生費	0	0	0	0	2,744	2,744
交際費	0	0	0	0	8,000	8,000
通信運搬費	0	0	0	0	1,879	1,879
消耗品費	0	0	0	0	12,007	12,007
貸借料	0	0	0	0	90,000	90,000
諸謝金	0	0	0	0	554,736	554,736
租税公課	0	0	0	0	2,050	2,050
雑費	0	0	0	0	141,664	141,664
管理費計	0	0	0	0	1,850,680	1,850,680
経常費用計	432,583	76,461,339	0	76,893,922	1,850,680	78,744,602
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 420,583	439,473	29	18,919	0	18,919
当期経常増減額	△ 420,583	439,473	29	18,919	0	18,919
2. 経常外増減の部						
(1) 経常外収益						
経常外収益計	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用						
経常外費用計	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 420,583	439,473	29	18,919	0	18,919
他会計振替額	350,094	2,762,090	0	3,112,184	△ 3,112,184	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 70,489	3,201,563	29	3,131,103	△ 3,112,184	18,919
当期一般正味財産増減額	△ 70,489	3,201,563	29	3,131,103	△ 3,112,184	18,919
一般正味財産期首残高	△ 5,000	△ 1,320,419	3,060,011	1,734,592	3,564,143	5,298,735
一般正味財産期末残高	△ 75,489	1,881,144	3,060,040	4,865,695	451,959	5,317,654
II 指定正味財産増減の部						
受取寄付金						
受取寄付金	0	28,498,789	0	28,498,789	1,850,680	30,349,469
一般正味財産への振替額						
一般正味財産への振替額	0	72,342,252	0	72,342,252	1,850,680	74,192,932
当期指定正味財産増減額	0	△ 43,843,463	0	△ 43,843,463	0	△ 43,843,463
指定正味財産期首残高	0	50,561,273	0	50,561,273	0	50,561,273
指定正味財産期末残高	0	6,717,810	0	6,717,810	0	6,717,810
III 正味財産期末残高	△ 75,489	8,598,954	3,060,040	11,583,505	451,959	12,035,464

財産目録

平成 31年 3月 31日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
普通預金	琉球銀行 壺屋支店 沖縄銀行 首里支店 沖縄銀行 鳥堀支店 琉球銀行 首里支店 沖縄銀行 鳥堀支店 沖縄銀行 鳥堀支店 沖縄銀行 鳥堀支店 沖縄銀行 鳥堀支店 郵便振替口座	運転資金として " " " (まちと子ども基金) " (まちと子ども基金) " (乳がん) " (新崎盛暉) " (子供シェルター) 運転資金として	267,664 366,217 315,421 150 3 17,250 21 116,002 0
未収金		データベース開発未収金 沖縄子どもの未来県民会議未収金 認知症見守り推進事業未収金 円卓ブックレット事業未収金 円卓会議未収金 映画上映会イベント未収金	1,036,800 1,000,000 962,577 391,464 387,200 108,000
流動資産合計			4,968,769
(固定資産)			
基本財産	普通預金	琉球銀行 首里支店	3,060,040
特定資産	資金循環事業基金	沖縄銀行 鳥堀支店他 沖縄銀行 鳥堀支店 沖縄銀行 鳥堀支店 沖縄銀行 鳥堀支店 琉球銀行 首里支店 沖縄銀行 鳥堀支店 沖縄銀行 鳥堀支店	寄付と助成プログラム 寄付と助成プログラム (ガイア) 寄付と助成プログラム (子供シェルター) テーマ型 (まちと子ども基金) テーマ型 (まちと子ども基金) 宮里大八国際交流基金 新崎盛暉平和活動奨励基金 269,750 4,700 1,044,000 822,627 228,371 537 4,347,825
固定資産合計			9,777,850
資産合計			14,746,619
(流動負債)			
未払金	(株)スタートライン (特非)まちなか研究所わくわく (同)トキニライド 理事、職員 個人2名 理事 大城税理士事務所 花風	データベース、映画上映会 委託費 円卓会議運営費 認知症見守り推進事業 委託費 役員報酬、給与 謝金・旅費 未精算経費 税理士報酬 (3月分) WEBサイト更新費 3月分	990,800 955,233 352,277 186,800 76,406 61,340 39,118 27,000
預り金		源泉所得税	22,181
流動負債合計			2,711,155
固定負債合計			0
負債合計			2,711,155
正味財産			12,035,464

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法  
棚卸資産の会計処理は、最終仕入原価法によっている。

(2) 消費税等の会計処理  
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
預金(基)	3,060,011	29	0	3,060,040
小計	3,060,011	29	0	3,060,040
特定資産				
資金循環事業基金	50,561,273	26,468,785	70,312,248	6,717,810
小計	50,561,273	26,468,785	70,312,248	6,717,810
合計	53,621,284	26,468,814	70,312,248	9,777,850

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
預金(基)	3,060,011	0	29	—
小計	3,060,011	0	29	—
特定資産				
資金循環事業基金	6,717,810	6,717,810	0	0
小計	6,717,810	6,717,810	0	0
合計	6,717,810	6,717,810	0	0

4. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内容	金額
経常収益への振替額	
目的達成による指定解除額 (各事業団体への寄付金助成ほか)	72,342,252
法人会計への振替額	1,850,680
合計	74,192,932

附属明細書

1. 重要な固定資産の明細

(単位：円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	預金（基）	3,060,011	29	0	3,060,040
	基本財産計	3,060,011	29	0	3,060,040
特定資産	資金循環事業基金	50,561,273	26,468,785	70,312,248	6,717,810
	特定資産計	50,561,273	26,468,785	70,312,248	6,717,810

貸借対照表

令和 2年 3月 31日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	1,041,812	1,082,728	△ 40,916
未収金	2,234,132	3,886,041	△ 1,651,909
流動資産合計	3,275,944	4,968,769	△ 1,692,825
2. 固定資産			
(1)基本財産			
預金(基)	3,060,070	3,060,040	30
基本財産合計	3,060,070	3,060,040	30
(2)特定資産			
資金循環事業基金	45,305,585	6,717,810	38,587,775
特定資産合計	45,305,585	6,717,810	38,587,775
(3)その他固定資産			
その他固定資産合計	0	0	0
固定資産合計	48,365,655	9,777,850	38,587,805
資産合計	51,641,599	14,746,619	36,894,980
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	3,044,356	2,688,974	355,382
預り金	210,458	22,181	188,277
前受補助金	36,919,644	0	36,919,644
流動負債合計	40,174,458	2,711,155	37,463,303
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	40,174,458	2,711,155	37,463,303
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	7,972,349	6,717,810	1,254,539
指定正味財産合計	7,972,349	6,717,810	1,254,539
2. 一般正味財産			
正味財産合計	11,467,141	12,035,464	△ 568,323
負債及び正味財産合計	51,641,599	14,746,619	36,894,980

## 貸借対照表内訳表

令和 2年 3月 31日 現在

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合計
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	361,127	680,685	1,041,812
未収金	2,234,132	0	2,234,132
流動資産合計	2,595,259	680,685	3,275,944
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
預金(基)	3,060,070	0	3,060,070
基本財産合計	3,060,070	0	3,060,070
(2) 特定資産			
資金循環事業基金	45,305,585	0	45,305,585
特定資産合計	45,305,585	0	45,305,585
(3) その他固定資産			
その他固定資産合計	0	0	0
固定資産合計	48,365,655	0	48,365,655
資産合計	50,960,914	680,685	51,641,599
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金	2,923,968	120,388	3,044,356
預り金	50,835	159,623	210,458
前受補助金	36,919,644	0	36,919,644
流動負債合計	39,894,447	280,011	40,174,458
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	39,894,447	280,011	40,174,458
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産			
寄付金	7,972,349	0	7,972,349
指定正味財産合計	7,972,349	0	7,972,349
2. 一般正味財産			
正味財産合計	3,094,118	400,674	3,494,792
負債及び正味財産合計	11,066,467	400,674	11,467,141
負債及び正味財産合計	50,960,914	680,685	51,641,599

正味財産増減計算書

平成 31年 4月 1日 から令和 2年 3月 31日 まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
事業収益			
自主事業	15,000	495,800	△ 480,800
委託事業	4,408,402	4,074,577	333,825
事業収益計	4,423,402	4,570,377	△ 146,975
受取補助金等			
受取国庫補助金	3,846,356	0	3,846,356
受取寄付金			
受取寄付金振替額	5,305,956	74,192,932	△ 68,886,976
雑収益			
受取利息	110	212	△ 102
経常収益計	13,575,824	78,763,521	△ 65,187,697
(2) 経常費用			
事業費			
役員報酬	1,536,000	1,904,000	△ 368,000
給料手当	1,260,000	0	1,260,000
福利厚生費	97,292	6,133	91,159
旅費交通費	568,572	174,806	393,766
通信運搬費	34,412	69,525	△ 35,113
消耗品費	250,269	87,519	162,750
印刷製本費	23,165	99,353	△ 76,188
賃借料	225,000	270,000	△ 45,000
諸謝金	136,000	85,000	51,000
租税公課	1,500	1,000	500
支払負担金	50,000	50,000	0
支払助成金	4,342,750	70,250,454	△ 65,907,704
委託費	400,000	0	400,000
外注工賃	3,422,980	3,669,377	△ 246,397
会場費	124,320	0	124,320
雑費	170,858	226,755	△ 55,897
事業費計	12,643,118	76,893,922	△ 64,250,804
管理費			
役員報酬	924,000	476,000	448,000
給料手当	561,600	561,600	0
福利厚生費	24,323	2,744	21,579
交際費	0	8,000	△ 8,000
旅費交通費	223,000	0	223,000
通信運搬費	2,546	1,879	667
消耗品費	124,229	12,007	112,222
賃借料	135,000	90,000	45,000
諸謝金	601,060	554,736	46,324
租税公課	3,200	2,050	1,150
雑費	156,610	141,664	14,946
管理費計	2,755,568	1,850,680	904,888
経常費用計	15,398,686	78,744,602	△ 63,345,916
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 1,822,862	18,919	△ 1,841,781
当期経常増減額	△ 1,822,862	18,919	△ 1,841,781
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 1,822,862	18,919	△ 1,841,781
当期一般正味財産増減額	△ 1,822,862	18,919	△ 1,841,781
一般正味財産期首残高	5,317,654	5,298,735	18,919
一般正味財産期末残高	3,494,792	5,317,654	△ 1,822,862
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金			
受取寄付金	6,560,495	30,349,469	△ 23,788,974
一般正味財産への振替額			
一般正味財産への振替額	5,305,956	74,192,932	△ 68,886,976
当期指定正味財産増減額	1,254,539	△ 43,843,463	45,098,002
指定正味財産期首残高	6,717,810	50,561,273	△ 43,843,463
指定正味財産期末残高	7,972,349	6,717,810	1,254,539
III 正味財産期末残高	11,467,141	12,035,464	△ 568,323

正味財産増減計算書内訳表

平成 31年 4月 1日 から令和 2年 3月 31日 まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計					法人会計	合計
	情報流通	資金循環	うち休眠預金等 交付金事業	共通	小計		
<b>I 一般正味財産増減の部</b>							
<b>1. 経常増減の部</b>							
(1) 経常収益							
事業収益							
自主事業	1,000	14,000	0	0	15,000	0	15,000
委託事業	0	3,637,040	0	0	3,637,040	771,362	4,408,402
事業収益計	1,000	3,651,040	0	0	3,652,040	771,362	4,423,402
受取補助金等							
受取国庫補助金	0	3,846,356	3,846,356	0	3,846,356	0	3,846,356
受取寄付金							
受取寄付金振替額	0	4,342,750	0	0	4,342,750	963,206	5,305,956
雑収益							
受取利息	0	80		30	110	0	110
経常収益計	1,000	11,840,226	3,846,356	30	11,841,256	1,734,568	13,575,824
(2) 経常費用							
事業費							
役員報酬	192,000	1,344,000	0	0	1,536,000	0	1,536,000
給料手当	0	1,260,000	1,260,000	0	1,260,000	0	1,260,000
福利厚生費	12,161	85,131	0	0	97,292	0	97,292
旅費交通費	0	568,572	437,642	0	568,572	0	568,572
通信運搬費	0	34,412	22,070	0	34,412	0	34,412
消耗品費	0	250,269	250,269	0	250,269	0	250,269
印刷製本費	0	23,165	23,165	0	23,165	0	23,165
賃借料	12,000	213,000	0	0	225,000	0	225,000
諸謝金	0	136,000	136,000	0	136,000	0	136,000
租税公課	0	1,500	0	0	1,500	0	1,500
支払負担金	50,000	0	0	0	50,000	0	50,000
支払助成金	0	4,342,750	0	0	4,342,750	0	4,342,750
委託費	0	400,000	400,000	0	400,000	0	400,000
外注工賃	0	3,422,980	250,000	0	3,422,980	0	3,422,980
会場費	0	124,320	46,210	0	124,320	0	124,320
雑費	605	170,253	0	0	170,858	0	170,858
事業費計	266,766	12,376,352	2,825,356	0	12,643,118	0	12,643,118
管理費							
役員報酬	0	540,000	540,000	0	540,000	384,000	924,000
給料手当	0	80,000	80,000	0	80,000	481,600	561,600
福利厚生費	0	0	0	0	0	24,323	24,323
旅費交通費	0	93,030	93,030	0	93,030	129,970	223,000
通信運搬費	0	0	0	0	0	2,546	2,546
消耗品費	0	124,080	124,080	0	124,080	149	124,229
賃借料	0	60,000	60,000	0	60,000	75,000	135,000
諸謝金	0	110,000	110,000	0	110,000	491,060	601,060
租税公課	0	0	0	0	0	3,200	3,200
雑費	0	13,890	13,890	0	13,890	142,720	156,610
管理費計	0	1,021,000	1,021,000	0	1,021,000	1,734,568	2,755,568
経常費用計	266,766	13,397,352	3,846,356	0	13,664,118	1,734,568	15,398,686
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 265,766	△ 1,557,126	0	30	△ 1,822,862	0	△ 1,822,862
当期経常増減額	△ 265,766	△ 1,557,126	0	30	△ 1,822,862	0	△ 1,822,862
<b>2. 経常外増減の部</b>							
(1) 経常外収益							
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用							
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 265,766	△ 1,557,126		30	△ 1,822,862	0	△ 1,822,862
他会計振替額	313,094	△ 261,809	0	0	51,285	△ 51,285	0
税引前当期一般正味財産増減額	47,328	△ 1,818,935	0	30	△ 1,771,577	△ 51,285	△ 1,822,862
当期一般正味財産増減額	47,328	△ 1,818,935	0	30	△ 1,771,577	△ 51,285	△ 1,822,862
一般正味財産期首残高	△ 75,489	1,881,144	0	3,060,040	4,865,695	451,959	5,317,654
一般正味財産期末残高	△ 28,161	62,209	0	3,060,070	3,094,118	400,674	3,494,792
<b>II 指定正味財産増減の部</b>							
受取寄付金							
受取寄付金	0	5,597,289	0	0	5,597,289	963,206	6,560,495
一般正味財産への振替額							
一般正味財産への振替額	0	4,342,750	0	0	4,342,750	963,206	5,305,956
当期指定正味財産増減額	0	1,254,539	0	0	1,254,539	0	1,254,539
指定正味財産期首残高	0	6,717,810	0	0	6,717,810	0	6,717,810
指定正味財産期末残高	0	7,972,349	0	0	7,972,349	0	7,972,349
<b>III 正味財産期末残高</b>	△ 28,161	8,034,558	0	3,060,070	11,066,467	400,674	11,467,141

財産目録

令和 2年 3月 31日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額		
(流動資産)	現金	手元保管	運転資金として	100,425		
	普通預金	琉球銀行 壺屋支店	運転資金として	473,012		
		沖縄銀行 首里支店	"	92,685		
		沖縄銀行 鳥堀支店	"	373,895		
		琉球銀行 首里支店 2口座	" (テーマ提案型助成プログラム)	1,795		
		郵便振替口座	運転資金として	0		
未収金		沖縄子どもの未来県民会議未収金	1,280,132			
		円卓会議未収金 3件	847,000			
		円卓会議ライセンス料未収金	80,000			
		3月分クレジット寄付	27,000			
流動資産合計				3,275,944		
(固定資産)	基本財産					
	普通預金	沖縄銀行 鳥堀支店		3,060,070		
特定資産	資金循環事業基金	沖縄銀行 鳥堀支店 10口座	テーマ提案型助成プログラム	110,800		
		琉球銀行 首里支店 5口座	テーマ提案型助成プログラム	793,734		
		沖縄銀行 鳥堀支店 2口座	テーマ提案型助成プログラム (うむさん基金)	180,000		
		琉球銀行 首里支店	テーマ提案型助成プログラム (うむさん基金)	220,800		
		沖縄銀行 鳥堀支店	冠助成 (まちと子ども基金)	729,727		
		琉球銀行 首里支店	冠助成 (まちと子ども基金)	234,321		
		琉球銀行 首里支店	冠助成 (休眠預金等交付金事業)	37,350,930		
		沖縄銀行 鳥堀支店	じぶん基金 (宮里大八国際交流基金)	142,537		
		沖縄銀行 鳥堀支店	じぶん基金 (新崎盛暉平和活動奨励基金)	4,881,064		
		沖縄銀行 鳥堀支店	じぶん基金 (琉球宇温基金)	661,672		
		固定資産合計				48,365,655
		資産合計				51,641,599
(流動負債)	未払金	(特非)まちなか研究所わくわく 理事、職員 浦添年金事務所 大城税理士事務所 花風 うむさんラボ 理事、職員	円卓会議運営費	2,204,280		
			役員報酬、給与(3月分)	626,800		
			社会保険料 (12~3月分)	121,615		
			税理士報酬 (3月分)	37,165		
			WEBサイト更新費 (3月分)	27,500		
			うむさん基金手数料 (当期確定額)	26,200		
			未精算経費	796		
	預り金	うむさんラボ	源泉所得税	163,298		
			うむさん基金手数料 (次期以降精算額)	47,160		
	前受補助金	日本民間公益活動連携機構	休眠預金等交付金事業	36,919,644		
流動負債合計				40,174,458		
固定負債合計				0		
負債合計				40,174,458		
正味財産				11,467,141		

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
預金(基)	3,060,040	30	0	3,060,070
小計	3,060,040	30	0	3,060,070
特定資産				
資金循環事業基金	6,717,810	45,305,585	6,717,810	45,305,585
小計	6,717,810	45,305,585	6,717,810	45,305,585
合計	9,777,850	45,305,615	6,717,810	48,365,655

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
預金(基)	3,060,070	0	3,060,070	—
小計	3,060,070	0	3,060,070	—
特定資産				
資金循環事業基金	45,305,585	7,950,549	4,106	37,350,930
小計	45,305,585	7,950,549	4,106	37,350,930
合計	48,365,655	7,950,549	3,064,176	37,350,930

4. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内容	金額
経常収益への振替額	
目的達成による指定解除額 (各事業団体への寄付金助成ほか)	4,342,750
法人会計への振替額	963,206
合計	5,305,956

附属明細書

1. 重要な固定資産の明細

(単位：円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	預金（基）	3,060,040	30	0	3,060,070
	基本財産計	3,060,040	30	0	3,060,070
特定資産	資金循環事業基金	6,717,810	45,305,585	6,717,810	45,305,585
	特定資産計	6,717,810	45,305,585	6,717,810	45,305,585

## 貸借対照表

令和 3年 3月 31日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	367,931	1,041,812	673,881
未収金	320,400	2,234,132	1,913,732
たな卸資産	427,922	0	427,922
流動資産合計	1,116,253	3,275,944	2,159,691
2. 固定資産			
(1)基本財産			
預金(基)	3,060,100	3,060,070	30
基本財産合計	3,060,100	3,060,070	30
(2)特定資産			
資金循環事業基金	21,782,360	45,305,585	23,523,225
特定資産合計	21,782,360	45,305,585	23,523,225
(3)その他固定資産			
その他固定資産合計	0	0	0
固定資産合計	24,842,460	48,365,655	23,523,195
資産合計	25,958,713	51,641,599	25,682,886
負債の部			
1. 流動負債			
未払金	794,281	3,044,356	2,250,075
預り金	331,446	210,458	120,988
前受補助金	12,627,010	36,919,644	24,292,634
流動負債合計	13,752,737	40,174,458	26,421,721
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	13,752,737	40,174,458	26,421,721
正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	9,252,209	7,972,349	1,279,860
指定正味財産合計	9,252,209	7,972,349	1,279,860
2. 一般正味財産			
正味財産合計	2,953,767	3,494,792	541,025
負債及び正味財産合計	12,205,976	11,467,141	738,835
負債及び正味財産合計	25,958,713	51,641,599	25,682,886

貸借対照表内訳表  
令和 3年 3月 31日 現在

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合計
資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	16,689	351,242	367,931
未収金	320,400	0	320,400
たな卸資産	427,922	0	427,922
流動資産合計	765,011	351,242	1,116,253
2. 固定資産			
(1)基本財産			
預金(基)	3,060,100	0	3,060,100
基本財産合計	3,060,100	0	3,060,100
(2)特定資産			
資金循環事業基金	21,782,360	0	21,782,360
特定資産合計	21,782,360	0	21,782,360
(3)その他固定資産			
その他固定資産合計	0	0	0
固定資産合計	24,842,460	0	24,842,460
資産合計	25,607,471	351,242	25,958,713
負債の部			
1. 流動負債			
未払金	759,481	34,800	794,281
預り金	161,045	170,401	331,446
前受補助金	12,627,010	0	12,627,010
流動負債合計	13,547,536	205,201	13,752,737
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	13,547,536	205,201	13,752,737
正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	9,252,209	0	9,252,209
指定正味財産合計	9,252,209	0	9,252,209
2. 一般正味財産			
正味財産合計	12,059,935	146,041	12,205,976
負債及び正味財産合計	25,607,471	351,242	25,958,713

正味財産増減計算書

令和 2年 4月 1日 から令和 3年 3月 31日 まで

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
事業収益			
自主事業	147,100	15,000	132,100
委託事業	1,571,400	4,408,402	2,837,002
事業収益計	1,718,500	4,423,402	2,704,902
受取補助金等			
受取国庫補助金	52,535,634	3,846,356	48,689,278
受取寄付金			
受取寄付金振替額	6,115,092	5,305,956	809,136
雑収益			
受取利息	118	110	8
雑収益	61,600	0	61,600
雑収益計	61,718	110	61,608
経常収益計	60,430,944	13,575,824	46,855,120
(2) 経常費用			
事業費			
役員報酬	840,000	1,536,000	696,000
給料手当	4,344,000	1,260,000	3,084,000
福利厚生費	107,247	97,292	9,955
旅費交通費	212,140	568,572	356,432
通信運搬費	95,367	34,412	60,955
消耗品費	412,740	250,269	162,471
印刷製本費	134,339	23,165	111,174
賃借料	108,750	225,000	116,250
諸謝金	880,000	136,000	744,000
租税公課	3,300	1,500	1,800
支払負担金	150,000	50,000	100,000
支払助成金	44,208,552	4,342,750	39,865,802
委託費	626,000	400,000	226,000
外注工賃	2,439,864	3,422,980	983,116
会場費	177,430	124,320	53,110
雑費	137,107	170,858	33,751
事業費計	54,876,836	12,643,118	42,233,718
管理費			
役員報酬	2,085,000	924,000	1,161,000
給料手当	2,533,800	561,600	1,972,200
福利厚生費	242,428	24,323	218,105
旅費交通費	0	223,000	223,000
通信運搬費	1,952	2,546	594
消耗品費	13,324	124,229	110,905
賃借料	251,250	135,000	116,250
諸謝金	723,124	601,060	122,064
租税公課	400	3,200	2,800
雑費	243,855	156,610	87,245
管理費計	6,095,133	2,755,568	3,339,565
経常費用計	60,971,969	15,398,686	45,573,283
評価損益等調整前当期経常増減額	541,025	1,822,862	1,281,837
当期経常増減額	541,025	1,822,862	1,281,837
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	541,025	1,822,862	1,281,837
当期一般正味財産増減額	541,025	1,822,862	1,281,837
一般正味財産期首残高	3,494,792	5,317,654	1,822,862
一般正味財産期末残高	2,953,767	3,494,792	541,025
指定正味財産増減の部			
受取寄付金			
受取寄付金	7,394,952	6,560,495	834,457
一般正味財産への振替額			
一般正味財産への振替額	6,115,092	5,305,956	809,136
当期指定正味財産増減額	1,279,860	1,254,539	25,321
指定正味財産期首残高	7,972,349	6,717,810	1,254,539
指定正味財産期末残高	9,252,209	7,972,349	1,279,860
正味財産期末残高	12,205,976	11,467,141	738,835

正味財産増減計算書内訳表

令和 2年 4月 1日 から令和 3年 3月 31日 まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計				法人会計	合計
	情報流通	資金循環	共通	小計		
一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
事業収益						
自主事業	146,000	1,100	0	147,100	0	147,100
委託事業	0	1,571,400	0	1,571,400	0	1,571,400
事業収益計	146,000	1,572,500	0	1,718,500	0	1,718,500
受取補助金等						
受取国庫補助金	0	52,535,634	0	52,535,634	0	52,535,634
受取寄付金	0	5,021,517	0	5,021,517	1,093,575	6,115,092
受取寄付金振替額						
雑収益						
受取利息	0	88	30	118	0	118
雑収益	0	0	0	0	61,600	61,600
雑収益計	0	88	30	118	61,600	61,718
経常収益計	146,000	59,129,739	30	59,275,769	1,155,175	60,430,944
(2) 経常費用						
事業費						
役員報酬	105,000	735,000	0	840,000	0	840,000
給料手当	0	4,344,000	0	4,344,000	0	4,344,000
福利厚生費	13,406	93,841	0	107,247	0	107,247
旅費交通費	0	212,140	0	212,140	0	212,140
通信運搬費	21,795	73,572	0	95,367	0	95,367
消耗品費	0	412,740	0	412,740	0	412,740
印刷製本費	123,859	10,480	0	134,339	0	134,339
賃借料	5,800	102,950	0	108,750	0	108,750
諸謝金	0	880,000	0	880,000	0	880,000
租税公課	0	3,300	0	3,300	0	3,300
支払負担金	150,000	0	0	150,000	0	150,000
支払助成金	0	44,208,552	0	44,208,552	0	44,208,552
委託費	0	626,000	0	626,000	0	626,000
外注工賃	0	2,439,864	0	2,439,864	0	2,439,864
会場費	0	177,430	0	177,430	0	177,430
雑費	1,155	135,952	0	137,107	0	137,107
事業費計	421,015	54,455,821	0	54,876,836	0	54,876,836
管理費						
役員報酬	0	1,875,000	0	1,875,000	210,000	2,085,000
給料手当	0	2,212,200	0	2,212,200	321,600	2,533,800
福利厚生費	0	201,059	0	201,059	41,369	242,428
通信運搬費	0	740	0	740	1,212	1,952
消耗品費	0	13,324	0	13,324	0	13,324
賃借料	0	215,000	0	215,000	36,250	251,250
諸謝金	0	377,920	0	377,920	345,204	723,124
租税公課	0	0	0	0	400	400
雑費	0	44,715	0	44,715	199,140	243,855
管理費計	0	4,939,958	0	4,939,958	1,155,175	6,095,133
経常費用計	421,015	59,395,779	0	59,816,794	1,155,175	60,971,969
評価損益等調整前当期経常増減額	275,015	266,040	30	541,025	0	541,025
当期経常増減額	275,015	266,040	30	541,025	0	541,025
2. 経常外増減の部						
(1) 経常外収益						
経常外収益計	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用						
経常外費用計	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	275,015	266,040	30	541,025	0	541,025
他会計振替額	375,317	120,684	0	254,633	254,633	0
税引前当期一般正味財産増減額	100,302	386,724	30	286,392	254,633	541,025
当期一般正味財産増減額	100,302	386,724	30	286,392	254,633	541,025
一般正味財産期首残高	28,161	62,209	3,060,070	3,094,118	400,674	3,494,792
一般正味財産期末残高	72,141	324,515	3,060,100	2,807,726	146,041	2,953,767
指定正味財産増減の部						
受取寄付金						
受取寄付金	0	6,301,377	0	6,301,377	1,093,575	7,394,952
一般正味財産への振替額						
一般正味財産への振替額	0	5,021,517	0	5,021,517	1,093,575	6,115,092
当期指定正味財産増減額	0	1,279,860	0	1,279,860	0	1,279,860
指定正味財産期首残高	0	7,972,349	0	7,972,349	0	7,972,349
指定正味財産期末残高	0	9,252,209	0	9,252,209	0	9,252,209
正味財産期末残高	72,141	8,927,694	3,060,100	12,059,935	146,041	12,205,976

財産目録

令和 3年 3月 31日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
普通預金	琉球銀行 壺屋支店 沖縄銀行 首里支店 沖縄銀行 鳥堀支店 沖縄銀行 鳥堀支店 沖縄銀行 鳥堀支店 沖縄銀行 鳥堀支店 沖縄銀行 鳥堀支店 郵便振替口座	運転資金として " " " (じぶん基金) " (じぶん基金) " (冠助成) " (テーマ提案型助成プログラム(うむさん基金)) 運転資金として	351,242 7,645 9,009 28 3 3 1 0
未収金	ロボットペイメント チャンスフォーチルドレン	3月分クレジット寄付 令和2年度那覇市スタディクーポンモデル事業	162,000 158,400
たな卸資産	1,166冊	円卓マニュアルブック	427,922
流動資産合計			1,116,253
(固定資産)			
基本財産			
普通預金	沖縄銀行 鳥堀支店		3,060,100
特定資産			
資金循環事業基金	沖縄銀行 首里支店  沖縄銀行 鳥堀支店 8口座 沖縄銀行 鳥堀支店 2口座 沖縄銀行 鳥堀支店 沖縄銀行 鳥堀支店 沖縄銀行 鳥堀支店 沖縄銀行 鳥堀支店 沖縄銀行 鳥堀支店 沖縄銀行 鳥堀支店 沖縄銀行 鳥堀支店 2口座 琉球銀行 首里支店 4口座 琉球銀行 首里支店 琉球銀行 首里支店 琉球銀行 首里支店 琉球銀行 首里支店 琉球銀行 首里支店	テーマ提案型助成プログラム(うむさん基金)、 冠助成(まちと子ども基金)、 テーマ提案型助成プログラム テーマ提案型助成プログラム テーマ提案型助成プログラム(うむさん基金) 冠助成(まちと子ども基金) 冠助成(沖縄・離島の子ども派遣基金) じぶん基金(新崎盛暉平和活動奨励基金) じぶん基金(琉球宇温基金) じぶん基金(中野・篠木基金) じぶん基金(宮里大八国際交流基金) 資金循環事業用口座 テーマ提案型助成プログラム テーマ提案型助成プログラム(うむさん基金) 冠助成(まちと子ども基金) 冠助成(沖縄・離島の子ども派遣基金) 他機関助成プログラム(休眠預金・離島派遣事業) 他機関助成プログラム(休眠預金・コロナ事業) 資金循環事業用口座	56,000 1,700 850 170,000 452,000 780,727 0 5,506,064 456,674 200,000 0 0 1,139,629 131,200 241,121 0 6,855,881 5,790,514 0
固定資産合計			24,842,460
資産合計			25,958,713
(流動負債)			
未払金	花風 (特非)まちなか研究所わくわく うむさんラボ 理事、職員	円卓マニュアルブック制作費 円卓会議運営費 うむさん基金手数料 確定額 役員報酬、給与(3月分の一部)	351,781 297,000 78,700 66,800
預り金	うむさんラボ	源泉所得税 うむさん基金手数料(次期以降精算額) 社会保険料 雇用保険料	158,455 141,660 29,711 1,620
前受補助金	日本民間公益活動連携機構 日本民間公益活動連携機構	休眠預金等交付金事業(離島派遣事業) 休眠預金等交付金事業(コロナ事業)	6,855,881 5,771,129
流動負債合計			13,752,737
固定負債合計			0
負債合計			13,752,737
正味財産			12,205,976

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1)消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
預金(基)	3,060,070	30	0	3,060,100
小計	3,060,070	30	0	3,060,100
特定資産				
資金循環事業基金	45,305,585	33,919,880	57,443,105	21,782,360
小計	45,305,585	33,919,880	57,443,105	21,782,360
合計	48,365,655	33,919,910	57,443,105	24,842,460

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
預金(基)	3,060,100	0	3,060,100	
小計	3,060,100	0	3,060,100	
特定資産				
資金循環事業基金	21,782,360	9,131,859	4,106	12,646,395
小計	21,782,360	9,131,859	4,106	12,646,395
合計	24,842,460	9,131,859	3,064,206	12,646,395

4. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内容	金額
経常収益への振替額	
目的達成による指定解除額 (各事業団体への寄付金助成ほか)	4,482,485
法人会計管理費充当のための振替額	1,093,575
公益目的事業費充当のための振替額	539,032
合計	6,115,092

## 附属明細書

## 1. 重要な固定資産の明細

(単位：円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	預金(基)	3,060,070	30	0	3,060,100
	基本財産計	3,060,070	30	0	3,060,100
特定資産	資金循環事業基金	45,305,585	33,919,880	57,443,105	21,782,360
	特定資産計	45,305,585	33,919,880	57,443,105	21,782,360